

埼玉病院薬

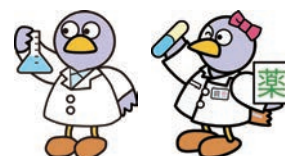
Vol.32 No.1 2025



IMS（イムス）グループ 医療法人社団明理会 春日部中央総合病院



一般社団法人
埼玉県病院薬剤師会



＜お知らせ＞

会員名簿の配布中止について

今年度から埼玉県病院薬剤師会では、経費の削減などを目的として、会員名簿の印刷物での配布を取り止め、埼玉県病院薬剤師会のホームページに掲載することにいたしました。

これに伴い、埼玉県病院薬剤師会のホームページ内に本会会員のみなさまが入室できる「会員専用ページ」の領域を新たに設け、そこに会員名簿や広報誌「埼玉病薬」のバックナンバーなどを掲載いたします。

「会員専用ページ」への入室には、下記のユーザー名とパスワードの入力が必要となります。ユーザー名とパスワードは、本会の会員以外の方との共有は控えていただくようお願いいたします。また、このユーザー名とパスワードは毎年変更していく予定です。

The screenshot shows the homepage of the Saitama Society of Hospital Pharmacists (埼玉県病院薬剤師会). The header includes the organization's name in English and Japanese, along with its logo. A navigation menu on the left lists various sections, with '会員専用ページ' (Member Only Page) highlighted at the bottom. A large black arrow points from this menu item to a login form. The login form is titled 'このサイトにアクセスするにはサインインしてください' (To access this site, please sign in) and includes fields for 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password). Below the fields are 'サインイン' (Sign In) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. The login credentials are displayed as: ユーザー名 : saibyo, パスワード : SSHP25. A small box at the bottom right of the login form contains the text '日本病院薬剤師会 会員管理システム マイページログイン' (Japan Hospital Pharmacists Association Member Management System My Page Login).

Saitama Society of Hospital Pharmacists
一般社団法人
埼玉県病院薬剤師会

トピックス(ヘッドライン5つより過去は下の記事一覧をご覧ください)

このサイトにアクセスするにはサインインしてください
https://saibyoyaku-d2.r-cms.jp では認証が必要となります

ユーザー名

パスワード

サインイン キャンセル

ユーザー名 : saibyo
パスワード : SSHP25

日本病院薬剤師会 会員管理システム
マイページログイン

会員専用ページ

メール配信サービスの終了について

これまで埼玉県病院薬剤師会では、研修会の開催情報や各種のお知らせをメール配信サービスにて提供してまいりました。しかし、サービス提供元の会社がメール配信サービスを終了することになったため、2025年3月末をもってメール配信サービスを終了することになりました。

代替えの情報提供ツールとして、公式LINE および公式X（旧twitter）より今後は情報発信を行っていきますので、いずれかの登録をお願いします。登録は、埼玉県病院薬剤師会のホームページ内にリンクがありますので、ご確認ください。

また、日本病院薬剤師会の会員となっている方につきましては、日本病院薬剤師会の会員管理システム（シクミネット）に登録されている各個人のメールアドレス宛にも、重要な案内を送らせていただく場合があります。予めご了承ください。

【研修会等の開催情報発信のご案内】

公式LINE

<https://lin.ee/aWnNhhs>



公式X（旧twitter）

[@saibyoyaku](https://twitter.com/saibyoyaku)



目 次

【巻頭言】

医療 DX の時代に、病院薬剤師が果たすべき新たな役割

埼玉県病院薬剤師会 理事 井上 雅美…………… 1

【年頭の挨拶】

2025 年「新年のごあいさつ」

埼玉県病院薬剤師会 会長 町田 充…………… 3

【会員のひろば】

＜学会報告＞

日本病院薬剤師会関東ブロック 第 54 回学術大会報告

越谷市立病院 薬剤科 羽田 竜也…………… 5

日本病院薬剤師会関東ブロック 第 54 回学術大会に参加して

獨協医科大学埼玉医療センター 薬剤部 朝倉 悠希…………… 9

＜医療の質・安全部会から＞

「フィッシュ！薬剤師が関わる医療安全と職場環境の充実」

埼玉県病院薬剤師会 医療の質・安全部会

防衛医科大学校病院 医療安全・感染対策部 矢島 功…………… 12

＜表彰＞

第 53 回埼玉県薬事衛生大会…………… 14

【薬局業務紹介】

IMS（イムス）グループ 医療法人社団明理会 春日部中央総合病院

薬剤部の業務紹介

春日部中央総合病院 薬剤部 野口 宣之…………… 16

【会のうごき】…………… 22

【会員動向】…………… 24

【理事会開催報告】…………… 27

令和 6 年度第 3 回理事会議事録（2024/6/18）

令和 6 年度第 4 回理事会議事録（2024/8/27）

【委員会開催報告】…………… 33

第 1 ～ 2 回総務委員会議事録（5/14、7/26）

第 1 回広報委員会議事録（4/30）

第1回薬事運営・実習教育委員会合同会議議事録 (5/10)
第54回関ブロスタッフ全体会 議事録 (8/5)
第54回関ブロ第15～17回準備実行委員会 議事録 (5/28、6/10、7/1)
第54回関ブロ第5回実行委員会 議事録 (7/23)
第78～79回評価委員会議事録 (5/8、7/17)

【事務局だより】	53
【お知らせ】	55
【原稿募集】	57
【編集後記】	58

医療 DX の時代に、病院薬剤師が果たすべき新たな役割

一般社団法人 埼玉県病院薬剤師会 理事
井上 雅美

会員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

2024 年度より理事の任を務めております、自治医科大学附属さいたま医療センターの井上と申します。病院薬剤師会および会員の皆さまのために尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2024 年 10 月に医療 DX 推進体制整備加算の見直しが行われたことは、ご記憶に新しいかと存じます。身近なところでも、医療 DX（デジタルトランスフォーメーション）という波が着実に近づいてきているのを実感されている方も多いのではないのでしょうか。また、AI やロボティクスの発展に伴い、「将来、薬剤師の仕事が AI に取って代わられるのではないか」という議論もよく耳にします。たしかに技術革新が私たちの業務に大きな影響を与えることは間違いありません。しかし、医療 DX の進展は、病院薬剤師の仕事を減らすのではなく、その役割をさらに広げ、進化させるものだとは考えています。

たとえば、AI や自動化技術は、調剤や薬品管理などの業務を効率化し、正確性を高めてくれるでしょう。調剤ロボットや AI によるデータ分析が導入されれば、私たち薬剤師がこれまで多くの時間を割いてきたルーチンワークから解放される可能性があります。

さらに、深刻化する人手不足という課題にも、AI や DX 技術を活用することで業務の効率化を図り、限られた人員の中でも質の高い医療を提供する仕組みを構築することで改善が期待できます。

もちろん課題もあります。最新の機器やシステムを導入するには多額の費用がかかり、特に予算の限られた病院にとっては、その負担が大きい問題となります。また、新しい技術を使いこなすための知識やスキルも必要です。AI が生成するデータの仕組みや限界を理解し、適切に活用する能力が求められるようになるでしょう。

では、こうした環境の変化の中で、病院薬剤師にはどのような新しい役割が期待されるのでしょうか？

一つ目は、患者さんの治療を全体的に支える「情報の翻訳者」としての役割です。医療 DX によって膨大なデータが活用される時代においては、私たちはそのデータを正しく解釈し、他の医療従事者への確に伝える能力が求められます。AI が提示する分析結果を判断材料として活用しながら、患者さんの背景や生活状況に応じて柔軟に対応する力が重要です。

二つ目は、患者さん一人ひとりの「治療体験」を支える存在としての役割です。たとえば服薬指導の場面では、AI は迅速かつ正確な情報を提示できる一方で、患者さんの不安を汲み取り、寄り添う姿

勢を代替することはできません。それらの情報を患者さんの生活に馴染ませ、安心して治療を継続できるよう支援することは、薬剤師にとって欠かせない役割です。

これらの新しい役割を果たすためには、私たち自身が学び続ける努力が欠かせません。データリテラシーやコミュニケーションスキルを磨くと同時に、チーム医療の一員として多職種との連携をより深めていくことが求められます。そして何よりも、患者さんに寄り添い、その人らしい生活を支えるという使命を忘れないことが重要です。

技術革新は私たちの仕事を脅かすものではなく、新たな可能性を切り拓くパートナーです。この変化の波を前向きに受け止め、病院薬剤師としての価値をさらに高めていければと考えています。これからも皆さまと共に医療の未来を築いていけることを楽しみにしております。

2025 年「新年のごあいさつ」

一般社団法人 埼玉県病院薬剤師会
会長 町田 充

新年明けましておめでとうございます。

埼玉県病院薬剤師会（以下：埼病薬）の会員の皆様におかれましては、お健やかに、そして新たな気持ちで令和7年をお迎えになったことと存じます。

令和4年（2022）5月16日の通常総会で第14代目の会長に選出され、第1期2年が終了しました（2024.6）。そして第2期（2026.5まで）が始まりました。残りの任期を会員のために、理事とともに埼病薬をより良いものにするために活動をして参ります。

昨年は、日本病院薬剤師会の「関東ブロック第54回学術大会」が（2024）8月10日～11日に大宮（さいたま市）で開催されました。新型コロナウイルス感染症が5類となり、当日参加者が2,610名、オンデマンド視聴者が671名、総計3,281名の参加で無事終了することができました。これも会員のみなさんと、理事ならびに各委員会部会の委員のおかげと理解しております。

メインテーマ「彩 IRODORI」、サブタイトル「～さまざまな分野で活躍する薬剤師～」の一躍を担うことができたでしょうか？誠にありがとうございました。

また、第57回日本薬剤師会学術大会（2024.9.21-23 大宮）も、埼玉県薬剤師会の担当で、大宮で開催されました。埼玉県で年に2回の薬剤師の学会が開催されたことは喜ばしい1年でした。参加された方へ心からお慶び申し上げます。

さて、新たに立ち上げた5つの委員会（災害救急・中小診療所・地域連携・インシデント・感染対策）の成果を発揮する年でもあります。会員のためになると信じております。温かく見守ってください。

また、当会の生涯学習制度の生涯研修センターの名称も変更し、埼玉県内の多くの薬剤師への生涯研修への利用が徐々に埼玉県薬剤師会とともに進んでいくことと思います。

埼玉県第8次医療計画には、病院薬剤師の記載はありませんでしたが、昨年、埼玉県薬務課が県内薬剤師の偏在化への危機感を感じ、みなさまへの調査を実施しました。この調査結果から施策が作成され、少しずつ実施されると思います。当会は薬務課へ全面協力して薬剤師、特に病院薬剤師の偏在解消を目指して参ります。

埼玉県を取り巻く医療環境には種々の取り組むべき事項があると存じますが、本会は今後も同じ埼玉県の薬剤師会、女性薬剤師会、および薬事団体連合会の皆様との連携を深めてまいる所存でございます。新たな事務局員も入局し、新生体制で歩んで参ります。

結びに、会員をはじめ各位より更なる埼病薬へのご提言、ご理解、そしてご協力を賜りますようお願い申し上げます。併せて会員各位のご清栄を祈念申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。

日本病院薬剤師会 関東ブロック
第54回学術大会 in Saitama

彩
IRODORI

さまざまな分野で活躍する薬剤師

一般登録
3月11日～5月15日(水)

事前参加登録
(現地参加+後日オンデマンド視聴)
3月11日～7月8日(月)

オンデマンド視聴のみ参加登録
3月11日～オンデマンド視聴終了日

★★★
彩の国さいたま

2024
8月10日・11日

会場 ソニックシティ
パレスホテル大宮

ハイブリッド開催
現地開催 + オンデマンド配信

<https://www.saitama-kanblo54.org/>
オンデマンド配信 / 2024年9月予定

【大会長】町田 充 (埼玉県病院薬剤師会 会長、さいたま市立大学病院 薬剤師長)
【主催】日本病院薬剤師会関東ブロック 【協賛】一般社団法人埼玉県病院薬剤師会

写真撮影スポット
撮影スポットをバックに写真を撮ろう!

日本病院薬剤師会 関東ブロック
第54回学術大会 付設薬科機器展示会
in ソニックシティ
2024年 8月10日(土)～11日(日)

彩の国へようこそ
後援ブースも
楽しみてくださいね

大会長 町田 充

埼玉県病院薬剤師会 会長、さいたま市立大学病院 薬剤師長

鉄道博物館で懇親会

日病薬関ブロ大会

機関車の汽笛実演も

10月1日に近い土曜日
内々訪れた日本病院薬
大会初日の夜には、鉄道
博物館で懇親会

会が開催された。会場には鉄道好きの薬剤師が多く詰めかけ、ずらりと並んだ車両を目ながら、懇親会を深めた。

鉄道博物館は鉄道ファン

左から埼玉県町田会長、日病薬武田会長

● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
会員のひろば
● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

＜学会報告＞

日本病院薬剤師会関東ブロック 第54回学術大会報告

越谷市立病院 薬剤科

羽田 竜也

2024年8月10日から11日に大宮で開催された「日本病院薬剤師会 関東ブロック第54回学術大会 in Saitama」に参加し、地域連携のセッションで「当院における連携充実加算算定への取り組みについて」を口頭発表いたしましたので、報告させていただきます。

1) 学会発表の概要

【目的】2020 年度診療報酬改定にて連携充実加算が新設され、越谷市立病院（以下、当院）では施設基準を満たした 2022 年 9 月より算定を開始した。今回、当院の取り組みと現状について報告する。

【方法】連携充実加算の施設基準について、院外薬局を対象とした研修会では算定開始前に連携の概要、当院レジメンの閲覧・確認方法等の説明を行った。その後は地域のがん診療拠点病院と合同で勉強会を開催した。患者に提供する治療情報提供書は、レジメン名、コース数、過去3回分の副作用のGradeを簡便に記載できる様式とした。薬局からの情報提供については、化学療法専用のトレーシングレポート（以下、TR）を作成し、病院ホームページよりダウンロード可能にした。今回、2022年10月～2024年3月における連携充実加算算定件数及び算定率、治療情報提供書に対するTR件数及び返信率を集計調査した。

がん化学療法副作用情報提供書

がん化学療法
副作用情報提供書

発行日時: 令和 5年 9月13日 10:55
発行者: 本誌 専任

※ 発行部数: 10000部 (2023/9/13現在)

評価日	2023年 9月13日	2023年10月25日	2023年11月15日
診療科	外科	外科	外科
レジメン	mFOLFOX6+トラスツズマブ	mFOLFOX6+トラスツズマブ	mFOLFOX6+トラスツズマブ
コース数	本日22コース目	本日33コース目	本日40コース目

悪心 1 5日間あり

食欲不振 0 2 day3~day5

口内炎 0 出来きり出なかった

便秘 1 5日間あり

下痢 0 1 不定期

味覚障害 0 0

末梢神経障害 1 前回の症状が改善

皮膚障害 0 1 足裏の皮むけ 24FS

倦怠感 0 1 1週間あり

2day3~day5、5日間あり、1週間ありが効果ありとの報告が複数あり、今後、day3~day5の副作用の発生率を低減してまいります。また、day3~day5の副作用の発生率を低減してまいります。また、day3~day5の副作用の発生率を低減してまいります。

2day3~day5、5日間あり、1週間ありが効果ありとの報告が複数あり、今後、day3~day5の副作用の発生率を低減してまいります。また、day3~day5の副作用の発生率を低減してまいります。また、day3~day5の副作用の発生率を低減してまいります。

担当医師サイン 本誌 専任

担当医師 本誌 専任

担当医師 本誌 専任

過去3回分の副作用のGradeを簡便に記載できる様式
電子カルテ上（NEC）で作成し出力

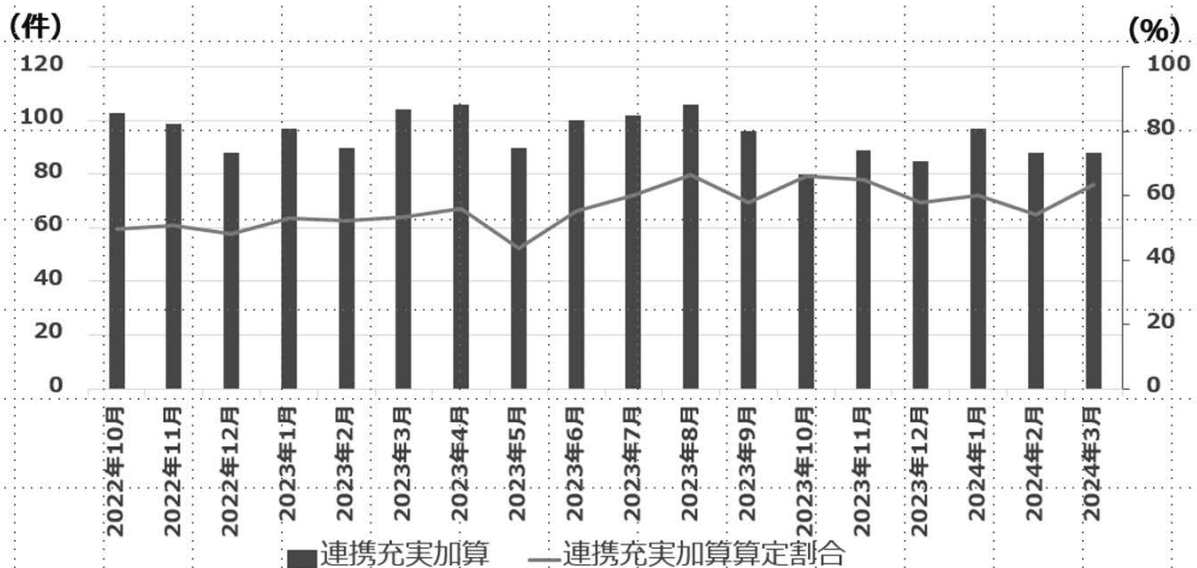
トレーニングレポート

副作用	なし	Grade1	Grade2	Grade3
悪心(吐き気)	☐	☐ 摂食習慣に影響のない食欲低下	☐ 顕著な体重減少、脱水または栄養失調を伴わない経口摂取量の減少	☐ カロリーや水分の経口摂取が不十分であり、静脈内輸液や入院を要する
倦怠感	☐	☐ 日常生活動作に影響のない息さがある、または元気がない	☐ 身の回り以外の日常生活動作を制限する息さがある、または元気がない状態	☐ 身の回りの日常生活動作を制限する息さがある、または元気がない状態
食欲不振	☐	☐ 摂食習慣の変化を伴わない食欲低下	☐ 顕著な体重減少や栄養失調を伴わない摂食量の変化、経口栄養剤による補充を要する	☐ 顕著な体重減少または栄養失調を伴い、静脈内輸液や入院を要する
口腔粘膜炎症(口内炎)	☐	☐ 摂食に影響がない、軽度の症状;治療を要さない	☐ 経口摂取に支障がない中等度の疼痛または潰瘍;食事の変更を要する	☐ 高度の疼痛、経口摂取に支障がある
下痢	☐	☐ ベースラインと比べて<4回/日の排便回数増加、人工肛門からの排泄量が軽度増加	☐ ベースラインと比べて4-6回/日の排便回数増加・人工肛門からの排泄量の中等度増加、身の回り以外の日常生活動作の制限	☐ ベースラインと比べて7回以上/日の排便回数増加・人工肛門からの排泄量の高度増加、入院を要する、身の回りの日常生活動作の制限
便秘	☐	☐ 不定期または間欠的な症状、便軟化剤/緩下薬/食事の工夫/浣腸を不定期に使用	☐ 緩下剤または浣腸の定期的使用を要する持続的な症状、身の回り以外の日常生活動作の制限	☐ 摘便を要する、身の回りの日常生活動作の制限

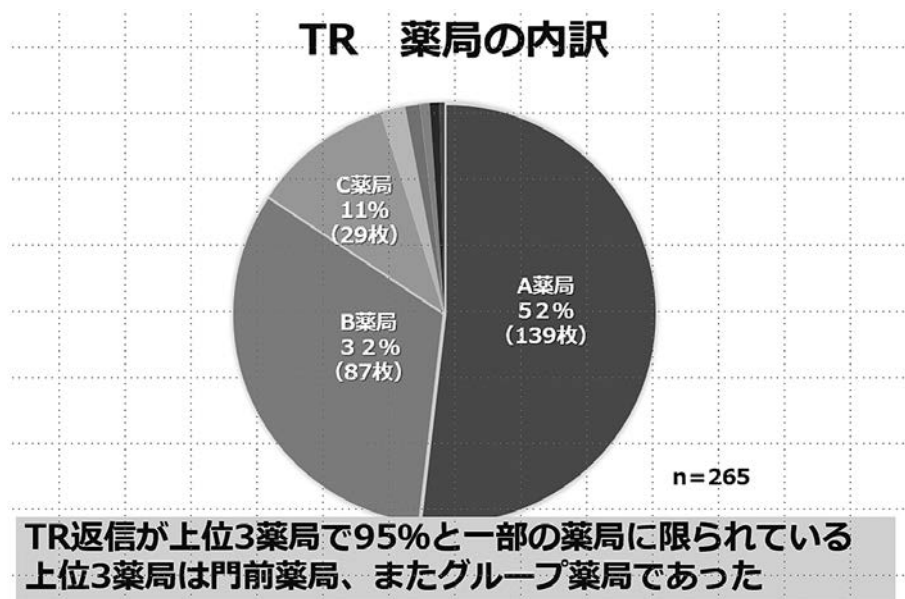
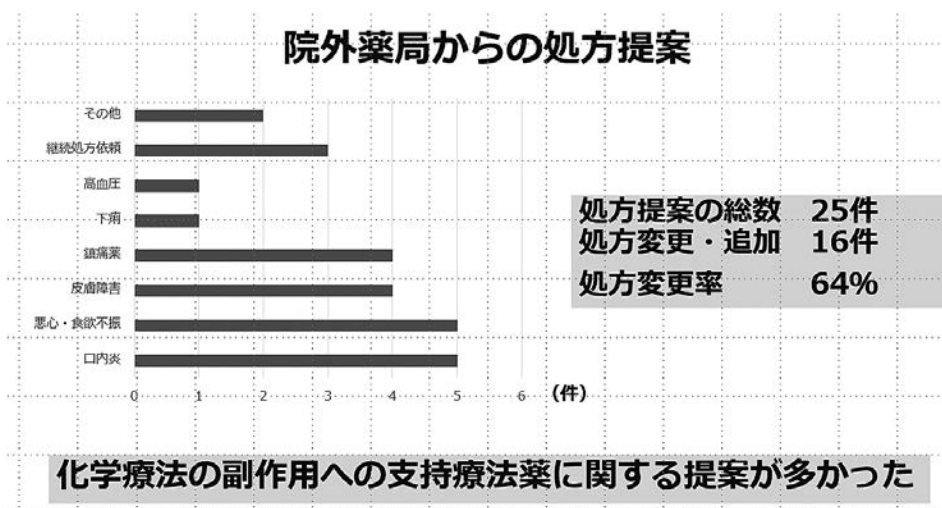
主な副作用についてGradeの目安となる症状を記載

【結果】調査期間における連携充実加算算定件数は1708件、月平均95件、連携充実加算算定率は55.5%であった。TR総件数は265件、月平均15件、TR返信率は15%、月別で最も多かった月は32.7%であった。院外薬局からの処方提案件数は25件、そのうち実際に処方変更につながった事例は16件であった。

連携充実加算件数、算定率の推移



連携充実加算総算定件数は1708件、月平均95件、
連携充実加算算定率は55.5%であった



【考察】外来化学療法室は1名で担当しているが、治療情報提供書を簡便に記載できる様式にしたことにより、連携充実加算は一定水準で算定できていた。TRにより副作用の早期発見に繋がる症例も見受けられ、薬薬連携の有用性が確認された。一方で、TR返信率は、2023年9月をピークに伸び悩んでいた。原因として、TR返信が一部の薬局に限られていることが考えられる。今後は、連携の裾野を広げるため情報交換の場の設定や情報共有のツール作成など新たな取り組みを検討していきたい。

2) 質問、総合討論の内容

質疑応答は、個々の発表後と同セッションの4演題の発表終了後の2回で行われました。

一般口頭演題でこのような総合討論は経験のないことで、戸惑いも感じましたが、他の施設の状況や薬剤師会の先生から貴重なご意見をいただき有意義なものでした。薬剤師会の先生からは、薬薬連携がうまく進行しない場合には、まずは地域の薬剤師会に働きかけていくとよいとアドバイスをいただきました。

＜質問1＞ TRレポートから、医師への伝達をどのような流れで行っているか？

＜回答＞ 外来化学療法担当の薬剤師がTR内容を確認し、医師への報告、提案が必要な内容については電子カルテ上の付箋機能を用いて伝達しています。

＜質問2＞ 各施設の地域連携で工夫していることについて

＜回答＞ 当院は薬薬連携の勉強会を毎年開催していますが、内容がオンラインの講義形式であり、他施設の顔を合わせての薬薬連携と比較して、どうしても一方通行であることが問題点と感じられた。

感想

今回、コロナ禍以降初めての現地での学会参加でした。WEB形式では時間にとらわれず参加できるメリットは大きいですが、現地開催で実際に顔を合わせて意見交換できる場は改めて有意義であると感じました。薬薬連携においても同じで、当院の薬薬連携の勉強会はオンラインの講義形式で、勉強会への参加しやすさなどメリットはありますが、やはり顔を合わせて意見交換し、顔が見える関係性をもつことができれば、TRの増加、薬薬連携の充実に繋がるのではないかと感じます。

当院は現在、外来化学療法担当薬剤師を1日当たり1人から1.5人に増員し今まで介入できていなかった患者へも面談、院外薬局への情報提供をできる体制を整えました。今後も地域のがん治療をよりサポートできるように精進していきたいと考えます。

日本病院薬剤師会関東ブロック 第 54 回学術大会に参加して

獨協医科大学埼玉医療センター 薬剤部

朝倉 悠希

2024 年 8 月 10 日・11 日に「日本病院薬剤師会関東ブロック 第 54 回学術大会」が埼玉県の大宮パレスホテルにて開催された。本会に参加し、ポスター発表を行ったので報告する。

1. 学会発表の概要

【演題名】

バーコード認証システムを利用した調剤システムと調剤補助員の導入が調剤過誤に与える影響

【背景・目的】

調剤方法は日々複雑化しており、調剤過誤は重大な結果をまねくこともあるため防止に努めなくてはならない。当院では、2020 年 8 月よりトーショー社製のバーコード認証を利用した計数調剤支援システム（F-Wave、以下システム）および 2022 年 4 月より調剤補助員 2 名動員することで調剤過誤を防止し、薬剤師業務の効率化も図っている。また、集計した調剤過誤について、毎月再発防止のため会議で対策を検討している。調剤過誤のデータから、システム導入および調剤補助員の動員前後でエラーの発生率とエラー項目別に比較し、実際に調剤過誤が減少しているか、分析した結果導入したことに意義があるのかを分析し、システムや調剤補助員では減らすことのできない調剤過誤を分析し今後の対策を考える。

【方法】

・調査期間

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| I：システム導入前 | (2017 年 6 月～2020 年 8 月) |
| II：システム導入後から調剤補助員導入前 | (2020 年 9 月～2022 年 3 月) |
| III：調剤補助員導入後 | (2022 年 4 月～2023 年 12 月) |

・調査項目

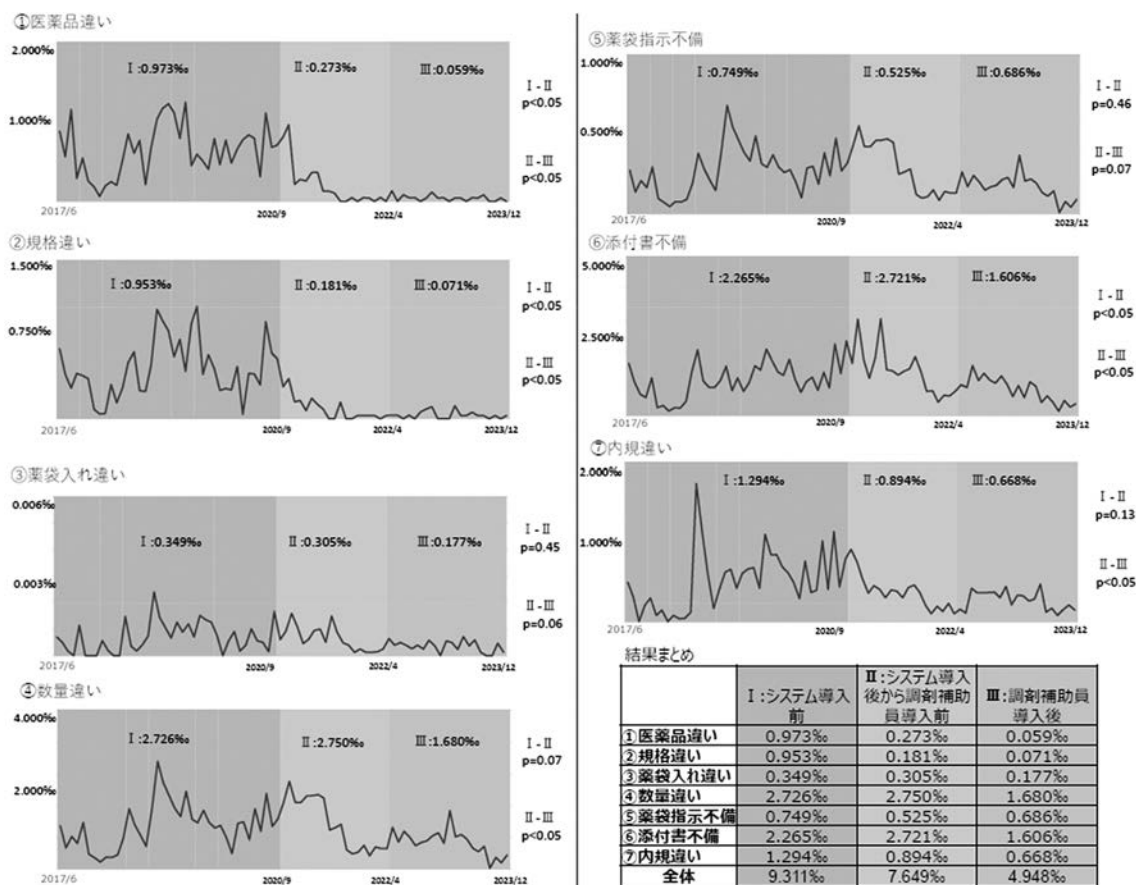
- ①医薬品違い②規格違い③薬袋入れ違い④数量違い⑤薬袋指示不備
⑥添付書不備⑦内規違い

月ごとにエラー発生率を算出し、それぞれを比較する。

・検定方法

I－II、II－IIIの期間でエラー件数を基に F- 検定をし、母集団に差の有無を確認する。
対応する t- 検定を行い、有意差を算出する。(p<0.05)

【結果】



【考察】

- ・システム導入および調剤補助の動員は全体的にエラーの件数を減少させた。
- ・システムの導入は医薬品違いと規格違いを減少させたが、添付書不備を増加させた。導入直後はシステムに気をとられたため、システムと無関係な添付書不備が増加したと推測される。
- ・調剤補助員の動員は数量違いも減少させた。理由としては、調剤補助員は先入観なく取り揃えをすることができるため数量間違いが少なく、また調剤補助員と薬剤師の2人による取り揃えになるためエラーの減少に繋がっていると考察する。
- ・薬袋指示不備や内規違いのエラーはシステムおよび調剤補助員では減少しないため、新たな対策が必要になってくると考察する。

【まとめ】

- ・現在、薬袋指示不備や添付書不備のエラーへの対策として、調剤棚に注意喚起表示および不要な添付書の省略を行っている。
- ・エラー件数の更なる減少には、間違いやすい薬が処方された際に処方箋に注意書きを記載する、システムを利用して添付書の有無を表示するなど、今後の対策が必要になる。
- ・調剤補助員を2名導入することで、外来抗がん剤の患者指導に薬剤師を1名増やすことができ、1名減った調剤室では明らかな不具合は生じていない。システムの機能拡張や調剤補助員の増員により、業務負担改善と更なる業務拡充につながるかもしれない。

【質問内容】

1. 調剤補助の具体的な仕事内容

回答) 計数調剤のうち簡単に取り揃えをできるもので依頼している。

2. 現在は調剤補助と鑑査という2名体制か？

回答) 調剤補助員が取り揃えた後、調剤棚の薬剤師が確認して監査を通してしている。現状3人で確認している。

3. 調剤補助はバーコード認証をして取り揃えか？

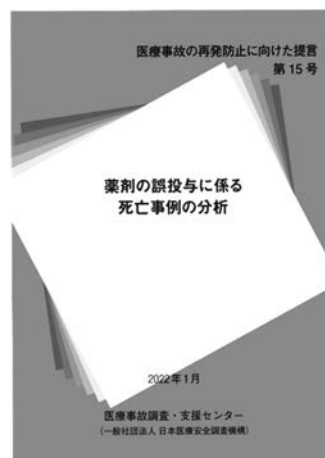
回答) バーコード認証で必ず行っている。

<医療の質・安全部会から>

「フィッシュ！薬剤師が関わる医療安全と職場環境の充実」

埼玉県病院薬剤師会 医療の質・安全部会
防衛医科大学校病院 医療安全・感染対策部
矢島 功

近年、医療の高度化や高齢化の進展に伴い、薬物療法の複雑化が進み、それに伴う医療事故のリスクも高まっています。薬剤師における医療安全の取組みとしたら、まず日常業務である調剤過誤対策が思い浮かぶかと思います。調剤過程における安全対策は多層的かつ多角的なアプローチが不可欠であり、処方箋の2重チェック体制、薬剤配置の工夫、GS1コードを活用した照合システム、電子カルテと連携した薬剤相互作用監査システムなど、テクノロジーと人的確認を組み合わせた多重防護の対策になります。次に病棟における薬剤管理指導業務では、単なる薬剤管理にとどまらず、患者個々の病態、既往歴、アレルギー歴を総合的に考慮した、きめ細かな薬学的介入が求められます。そして、これらの業務を全職員が共通の認識のもと、適切な調剤作業を行うためには、明確で実効性の高い標準作業手順書の整備も必要です。もちろん多くの薬剤師が自己研鑽に励み、知識や認定の取得も過誤防止となっています。医薬品に関連した事例は日本医療機能評価機構からの『医療安全情報』、PMDAから『PMDA 医療安全情報』が提供されており、これらの事例から自施設での潜在的なリスクを明確にでき、予防策を講じることができます。合わせて、日本医療安全調査機構（医療事故調査・支援センター）から『医療事故の再発防止に向けた提言』は収集した報告書を整理・分析し、再発防止策として提言にまとめてくれています。2022年の第15号で医薬品に関連した提言は、調剤や薬剤管理指導に対して一変されると思いますので、ぜひ一読いただけたらと思います。



ここまで薬剤に関連した取組みや情報提供でしたが、病院全体としてみると薬剤のインシデントは30～40%ぐらいです。それ以外には転倒転落、ドレーンなどのチューブ、検査、同意書不備などに関連した報告があり、医療安全推進室専従の立場で転倒転落の背景に薬剤の影響？薬剤投与時のチューブ閉塞は防げた？チューブの自己抜去はせん妄の影響？など、薬剤師目線で背景を探り、院内各部署へ状況調査を行って改善へ繋げています。しかし、その一方で専門職の集まりであるからこそその情報共有ミス、確認不足によって発生してしまった報告があります。医療事故の大半はコミュニケーション

ンエラーであると言われており、医師、看護師をはじめとする多職種との緊密な情報共有と連携は、安全な医療提供の絶対条件となりますが、連絡や指示が口頭からメッセージツールが使用されるようになり、伝えたつもりでも、実際に相手に届いていないことがあります。質の高い医療の実現には優れた医療チームが必要と言われていますが、では優れた医療チームとはどんなチームでしょうか？医療チームには患者が中心となり患者自身も問題解決に参加する必要があります。そのため、階層意識をもたず、相互に知り合い、意見を言える、質問できる環境を整えることが重要です。その結果、様々な情報を統合し、仲間の真の姿を正確に把握する能力をもち、他者への心遣いや同情、配慮や共感といったメンタル面の要素を備えたチームが成功するチームとなります。心理的安全性の確保、互いを尊重し合う職場文化の醸成は、単なる理想論ではなく、実践的な安全対策の一環です。近年、ハラスメントが問題となっていますが、職場環境の悪化、最終的には医療の安全性にも深刻な影響を及ぼします。しかし、ハラスメントをおそれるあまり、部下への指導が十分におこなわれていないという現状も指摘されています。指導される側においてもすぐにハラスメントと捉えず、なぜ言われたのか、どうすればできたかなど振り返ってみていただけたらと思います。

最後に皆様の職場雰囲気はいかがですか？仕事は楽しいですか？辛いですか？アメリカのシアトルにあるパイププレイス魚市場で生まれたもので、この市場の魚屋さんが、楽しそうに仕事をしている様子が話題になり、その働き方を理論化したものに「フィッシュ！」があります。フィッシュ哲学の4つの原則には、①遊ぶ（Play）仕事を遊び心を持って楽しむ、

日常の仕事に変化や面白さを加える②楽しませる・喜ばせる（Make Their Day）、周りの人を笑顔にする、お客様や同僚を大切にする③注意を向ける（Be There）周りの状況に注意を払い、変化に気づく、相手の話を聞き、共感する④態度を選ぶ（Choose Your Attitude）ポジティブな態度で仕事に取り組む、自分自身の行動に責任を持つ。遊び心で仕事を楽しむのはいかがですか？

＜表彰＞

第 53 回埼玉県薬事衛生大会

薬に関する正しい知識の普及を図るため、毎年 10 月に「薬と健康の週間」の啓発活動の一環として埼玉県薬事衛生大会が開催されています。「薬と健康の週間」は医薬品を正しく使用することの大切さ、そのために薬剤師が果たす役割の大切さを一人でも多くの方に知ってもらうために、ポスターなどを用いて積極的な啓発活動が 1 週間行われます。

そして大会中には埼玉県の薬事衛生に対して長年貢献されてきた先生方の表彰が行われます。埼玉県病院薬剤師会の先生方も表彰をされましたのでその功績をたたえご紹介をさせていただきます。

＜開催日時＞

令和 6 年 10 月 28 日（月曜日）13 時 30 分から 14 時 20 分

＜開催場所＞

埼玉会館小ホール さいたま市浦和区高砂 3-1-4

＜主催＞

埼玉県、埼玉県薬事団体連合会

＜内容＞

表彰式典（13 時 30 分～14 時 20 分）

【薬事功労の部】

厚生労働大臣表彰受賞者の紹介（2 名）

埼玉県知事表彰状の授与（15 名）

＊埼玉県病院薬剤師会 2 名

埼玉県薬事団体連合会会長表彰状（会長功労、会長善行）の授与（97 名）

＊埼玉県病院薬剤師会 会長功労賞 3 名、 会長善行賞 4 名

【薬物乱用防止功績の部】

厚生労働大臣感謝状の伝達（1 名）

厚生労働省医薬局長感謝状の伝達（2 名）

第53 回埼玉県薬事衛生大会 受賞者

埼玉県知事功労賞

獨協医科大学埼玉医療センター 多田 幸子

埼玉県立がんセンター 中山 季昭

会長功労賞

さいたま赤十字病院 興野 克典

川口総合病院 池上 幸子

自治医科大学附属さいたま医療センター 猪股 ふみ子

会長善行賞

草加市立病院 香田 博

上尾中央総合病院 小川 桂

至聖病院 泉 香里

埼玉医科大学総合医療センター 矢島 美友紀

●●●●●●●●●●
薬局業務紹介
●●●●●●●●●●

IMS（イムス）グループ 医療法人社団明理会 春日部中央総合病院
薬剤部の業務紹介

春日部中央総合病院 薬剤部

野口 宣之、内田 有紀、岩田 愛子、南部 広夢、佐藤 拓行、松葉 康利、伊佐 友梨香



【病院概要】

当院は埼玉県春日部市に所在する、板橋中央医科グループ（イムスグループ）の病院です。昭和 56 年 8 月に南春日部中央病院として開設され、平成 10 年 4 月には春日部中央総合病院へ名称変更し、新設移転しました。平成 16 年 5 月には増築 A 棟、新築 C 棟が完成し、90 床を増床して 404 床となりました。平成 25 年 12 月には B 棟の 3・4 階病棟をリニューアルオープンし、手術室の増設（6 室）や血液内科、腫瘍内科、救急科の標榜を開始しました。現在、循環器科、脳神経外科、救急科を中心に診療を行い、急性期医療（高度医療）、リハビリテーション（回復）、在宅介護（療養）といった一連の医療サービスを提供しています。24 時間体制の救急医療を通じて、地域の皆様が安心して暮らせるような地域医療の実現を目指しています。

病床数 404 床（一般 272 床、障害者 132 床）

診療科目 内科／循環器科／緩和ケア内科／腎臓内科／糖尿病・代謝内科／腫瘍内科／血液内科／神経内科／消化器科／呼吸器科／外科／心臓血管外科／整形外科／脳神経外科／皮膚科／形成外科／泌尿器科／眼科／耳鼻咽喉科／婦人科／麻酔科／救急科／放射線科／リハビリテーション科（全 24 科）

【薬剤部概要】

薬剤部は、「患者さま一人ひとりに安心を」を使命として掲げ、職員一人ひとりが様々な場面で模範となって活躍することを目標としております。すべての入院患者さまに対して積極的に介入し、病棟に専任薬剤師を配置し、外来がん患者さまへの薬剤師外来にも専任薬剤師を配置して、協調性を大切に、多職種と連携して、患者さまの治療を支えております。

(2024 年 12 月現在)

薬剤部員数 薬剤師 34 名 (産育休 3 含む) アシスタント 6 名
入院処方箋枚数 (月平均) 4,200 枚 入院注射箋枚数 (月平均) 10,200 枚
薬剤管理指導件数 (月平均) 1,400 件
退院時薬剤情報管理指導件数 (月平均) 330 件
退院時薬剤情報連携加算件数 (月平均) 30 件
周術期薬剤管理加算件数 (月平均) 110 件
化学療法面談件数 (月平均) 150 件
化学療法混注剤数 (月平均) 220 件

【薬剤部の各種認定等の取得状況】

外来がん治療専門薬剤師	日本臨床腫瘍薬学会	4 名
抗菌化学療法認定薬剤師	日本化学療法学会	2 名
NST 専門療養士	日本臨床栄養代謝学会	2 名
周術期管理チーム薬剤師	日本麻酔科学会	3 名
腎臓病療養指導士	日本腎臓病協会	2 名
心不全療養指導士	日本循環器学会	2 名
終末期ケア専門士	日本終末期ケア協会	1 名
病院薬学認定薬剤師	日本病院薬剤師会	1 名
認定実務実習指導薬剤師	日本薬剤師研修センター	5 名
漢方薬・生薬認定薬剤師	日本薬剤師研修センター	1 名
研修認定薬剤師	日本薬剤師研修センター	4 名
日本心電図検定 (1 級)	日本不整脈学会	2 名
日本心電図検定 (3 級)	日本不整脈学会	1 名
日本心電図検定 (4 級)	日本不整脈学会	2 名
公認スポーツファーマシスト	日本アンチ・ドーピング機構	1 名
BLS プロバイダー	米国心臓協会	1 名

【認定病院】

日本臨床腫瘍薬学会 がん診療病院連携研修

【中央調剤室業務】

オーダーリングシステムを通して、医師が処方した処方箋に基づき、自動調剤分包機等の調剤システムを使用して調剤を行っています。内服薬は一包化調剤を基本としており、複数内服薬がある患者さまや投薬にあたる看護師さんの負担軽減に役立てています。また、薬の用法・用量、他の診療科との薬の併用などに問題がないか、電子カルテなどを用いて確認を行っています。

注射薬調剤ではアンプルピッカーの導入により調剤インシデントの低下や薬剤師の対人業務への移行が進んでいます。投薬量・投与時間・投与ルート、配合変化・安定性などを確認した後、一人一人の注射薬をセットし、病棟に払い出しています。また、高カロリー輸液はクリーンベンチ内で無菌的に混注を行っており、外来におけるインスリン等の自己注射手技指導も薬剤師が実施しているため、患者さまが安心・安全に医療を受けられる体制が整っています。



【入院前服薬指導業務】

手術や造影検査を予定している患者さまに対して、薬剤師による術前中止薬の確認を行っています。服用中の薬剤の把握とともに術前休薬が必要な薬剤の有無、適切な休薬指示の有無を確認し、患者さまが休薬について正しく理解されているかを確認しています。医師との事前合意に基づいて、術前中止薬プロトコルを作成し、疑義照会を減らすことで医師と病棟薬剤師の負担軽減に繋がっています。



【病棟薬剤業務】

10 病棟全てに専任薬剤師を配置し、17 名が病棟専任薬剤師として従事しています。薬剤管理指導をはじめ処方提案、持参薬の聴取と管理、内服薬セット、カンファレンスの参加、TDM、医師と合意の下での処方入力支援などを行い、安全・安心な薬物療法の実践に努めています。スタッフステーションには薬剤師が優先的に使用できる電子カルテ用 PC があるため業務効率が良く、医師・看護師等との情報共有、相談応需がしやすい環境となっています。

薬剤総合評価調整加算、薬剤調製加算、退院時薬剤情報連携加算など、ポリファーマシー対策や薬薬連携にも積極的に取り組んでいます。

t-PA やアンデキサネットアルファは用法用量および調製方法が複雑で投与決定から調製、運搬、投与が迅速に行われる必要がある薬剤であるため、プロトコルに基づいて投与設計、薬剤の調製、処方入力支援を行っています。

抗菌薬の TDM では処方設計、処方提案だけでなく、プロトコルに基づいて薬物血中濃度の採血オーダーの代行入力も行っています。



【医薬品情報管理室】

医薬品情報一元管理システム（JUS-DI）を導入しています。毎日医薬品情報が更新されるため、最新の DI 情報を漏れなく把握することが出来ます（電子カルテ画面で参照可能）。

また、このシステムを利用して当院独自の様々な DI 情報を引き出すことが可能です。病棟専任薬剤師から、毎日どのような疑義や処方提案があったのかを確認し、月に 1 回病棟 -DI カンファレンスを開催して薬剤情報を部内・院内全体で共有しています。



【外来化学療法】

2013 年から薬剤師外来を実施しており、医師の診察前に患者さまと面談して体調確認を行っています。2017 年からは看護師と協働の薬剤師・看護師外来を行っています。これにより薬学的な評価のみならずフィジカルアセスメントもより綿密に行えるようになりました。面談で聴取した内容は要点を整理し医師に情報提供し、必要に応じて処方提案を行っています。診察後は患者さまご本人とご家族に、薬剤の追加や変更に合わせた服薬指導を実施しています。化学療法や支持療法の内容については保険調剤薬局の先生方や近隣の医療機関と情報共有できるよう「化学療法連携シート」を作成し交付しています。病床数は6床、外来化学療法担当薬剤師として3名配置し、患者さまの治療に携わっています。



【AST（抗菌薬適正使用支援チーム）】

2015 年から AST を発足し、薬剤師が率先して抗菌薬適正使用を推進してきました。多職種が協力して行っている週1回の AST ラウンドや、検査技師からの血液培養陽性の連絡を踏まえて、より適切な抗菌薬への変更提案や必要な検査の依頼など感染症治療に関わる支援を行っています。また、定期的な院内通信の発行や、感染症・抗菌薬研修会の開催など、職員の感染症に関する知識のベースアップを図るとともに、感染制御認定薬剤師・抗菌化学療法認定薬剤師の取得支援を行い、次世代を担う若い薬剤師の教育に力を注いでいます。

【おわりに】

医療の高度化や疾病の多様化に伴い、医療従事者の業務は多岐にわたっています。このような状況の中で、薬剤師は薬の専門家としてチーム医療の一員として重要な役割を担っています。

当院薬剤部では、患者さま一人ひとりに最適な薬物治療を提供し、安心して治療を受けていただけるよう支援しています。医療チームの一員として、多職種と連携し、常に患者さまの安全を最優先に考えて行動しています。今後も、患者さまに信頼される薬剤部を目指して、日々努力を重ねてまいります。



●●●●●●●●
会のうごき
●●●●●●●●

5月1日	監事による監査	於：事務局
5月8日	第78回評価委員会	於：事務局
5月10日	第1回薬事運営委員会	オンライン会議
5月14日	第1回総務委員会	於：ソニックシティ 603 会議室
5月14日	2024 年度通常総会	於：ソニックシティ 603 会議室
5月14日	第2回理事会	於：ソニックシティ 603 会議室
5月28日	関東ブロック第54回学術大会第15回準備実行委員会	於：小峰ビル1階会議室
6月2日	丸山記念総合病院名誉院長病院葬に濱浦睦雄副会長参列	
6月3日	埼玉県健康医療部薬務課との会議に町田充会長・近藤正巳・多田幸子・濱浦睦雄副会長、伊藤典子理事・井上雅美理事出席	
6月7日	薬事団体連合会通常総会・講演会・懇親会に町田充会長・近藤正巳・濱浦睦雄副会長出席	
6月10日	関東ブロック第54回学術大会第16回準備実行委員会	オンライン会議
6月15日	日病薬第69回通常総会に町田充会長・多田幸子副会長出席近藤正巳副会長・新井成俊理事 WEB で出席	
6月17日	CPC 令和6年度定時社員総会に町田充会長・濱浦睦雄評価委員長・中村房子評価委員出席	
6月17日	CAPEP 第32回認定薬剤師認証研修期間協議会に町田充会長・濱浦睦雄評価委員長・中村房子評価委員出席	
6月18日	第3回理事会	オンライン会議
6月19日	2024 年度病院薬剤師対象診療報酬改定勉強会	オンライン会議
7月1日	関東ブロック第54回学術大会第17回準備実行委員会	於：小峰ビル1階会議室
7月12日	(株) Dr JOY と共にソニックシティビル下見他	
7月17日	第79回評価委員会	於：事務局
7月19日	大宮清水園新社屋落成披露に事務局員金子久代・曾我部直美出席	
7月23日	関東ブロック第54回学術大会第5回実行委員会	於：ソニックシティビル 906 号室
7月26日	第2回総務委員会	於：小峰ビル1階会議室
8月5日	関東ブロック第54回学術大会スタッフ全体会	オンライン会議

8月10日	関東ブロック第54回学術大会・懇親会 於：ソニックシティ、パレスホテル大宮、鉄道博物館
8月11日	関東ブロック第54回学術大会 於：ソニックシティ、パレスホテル大宮
8月21日	ジェネリック医薬品研修会に田村賢士理事・曾我部直美事務局員出席
8月22日	埼玉県薬事団体連合会団体長会議に町田充会長出席
8月27日	第4回理事会 オンライン会議

●●●●●●●●
 会員動向
 ●●●●●●●●

令和6年度 第3回理事会承認

A 会員

1	古 泉 直 子	益子病院	城西大 1994
2	萩 野 美 帆	のぞみリハビリテーション病院	摂南大 2012
3	長谷川 幹 朗	大宮中央総合病院	道薬大 2018
4	渡 邊 航 平	埼玉県立がんセンター	日本薬科 2018
5	中 島 梢	順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院	東理大 2019
6	中 村 絵里子	ジャパンメディカルアライアンス東埼玉総合病院	明薬大 2021
7	橋 本 京 平	川口市立医療センター	帝京平成 2019
8	渡 邊 有 沙	吉川中央総合病院	東邦大 2020
9	西 島 洸 貴	埼玉医科大学国際医療センター	明薬大 2024
10	後 藤 聡 太	埼玉医科大学国際医療センター	日大 2023
11	小 堀 茉 緒	埼玉医科大学国際医療センター	日大 2024
12	米 田 涼	埼玉医科大学国際医療センター	城西大 2024
13	畑 恵 利 奈	埼玉医科大学国際医療センター	日本薬科 2024
14	山 口 咲	埼玉県立がんセンター	明薬大 2024
15	小 林 寛 斗	埼玉県立がんセンター	星薬大 2024
16	浅 子 由 衣	越谷誠和病院	北里大 2015
17	福 沢 愛 子	医療生協さいたま埼玉協同病院	明薬大 2021
18	佐 野 ゆり子	埼玉県立小児医療センター	帝京大 2024
19	酒 井 佳 音	埼玉県立小児医療センター	日大 2024
20	菊 川 真 咲	埼玉県立小児医療センター	星薬大 2024
21	山 崎 初 音	大宮共立病院	帝京大 2024
22	平 澤 笑	埼玉医科大学総合医療センター	東薬大 2023
23	辻 彩 音	さいたま赤十字病院	昭和大 2024
24	新 山 乃登花	さいたま赤十字病院	北里大 2024
25	小 竹 彩 水	さいたま赤十字病院	昭薬大 2024
26	正 島 奈 穂	さいたま赤十字病院	東薬大 2024
27	長谷川 潤	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	星薬大 2024
28	荒 牧 侑 希	巨樹の会所沢美原総合病院	昭和大 2024
29	山 口 拓 真	春日部中央総合病院	日本薬科 2024
30	丸 目 彩 華	埼玉医科大学総合医療センター	武蔵野大 2024
31	越 川 朝 陽	埼玉医科大学総合医療センター	明薬大 2024
32	吉 留 陸 馬	埼玉医科大学総合医療センター	慶應大 2024
33	金 井 理 紗	埼玉県立小児医療センター	北医大 2024
34	斉 藤 可奈子	埼玉県立がんセンター	東薬大 2024
35	大 山 祥 延	川口市立医療センター	帝京大 2024
36	後 藤 美 南	社会医療法人さいたま市民医療センター	明薬大 2024
37	佐 藤 匠	越谷市立病院	明薬大 2024
38	樺 澤 茉 衣	医療法人熊谷総合病院	星薬大 2024

39	和田 桃 佳	医療法人熊谷総合病院	岐阜薬大 2024
40	野 村 彩 織	医療法人熊谷総合病院	北里大 2024
41	武 藤 広 将	埼玉医科大学総合医療センター	星薬大 2024
42	小森谷 悠	埼玉医科大学病院	明薬大 2024
43	鳴 海 佑 香	埼玉医科大学病院	道薬大 2024
44	吉 田 いづみ	埼玉医科大学総合医療センター	城西大 1999
45	高 理 絵	越谷誠和病院	北里大 2023
46	今 井 愛 菜	深谷赤十字病院	昭和大 2024
47	恩 田 風 佳	戸田中央リハビリテーション病院	横浜薬科 2024
48	東 浦 愛	深谷赤十字病院	北里大 2024
49	櫻 井 美 咲	深谷赤十字病院	帝京大 2024
50	仲 田 康一郎	久喜すずのき病院	国際医福 2024
51	吹 越 美 樹	東武丸山病院	東薬大 2008
52	守 屋 朋 香	深谷赤十字病院	城西大 2024
53	松 尾 のぞみ	埼玉医科大学総合医療センター	昭薬大 2024
54	黒 沼 諒 大	春日部中央総合病院	横浜薬科 2024
55	梅 野 佳 奈	埼玉医科大学総合医療センター	就実大 2022
56	大 貫 愛 佳	獨協医科大学埼玉医療センター	明薬大 2024
57	桑 原 汐 里	明芳会イムス三芳総合病院	日大 2024
58	房 前 夢 実	明芳会イムス三芳総合病院	帝京大 2024
59	松 鶴 明	明芳会イムス三芳総合病院	神戸学院大 2024
60	高 羽 杏	明芳会イムス三芳総合病院	昭和大 2023
61	黒 田 沙 紀	行田総合病院	国際医福 2024
62	山 口 菜 摘	越谷誠和病院	帝京平成 2016
63	本 間 真里奈	徳洲会羽生総合病院	高崎健康 2023
64	今 野 智 美	戸田中央総合病院	城西大 2020
65	原 士 輝	医療法人徳洲会羽生総合病院	帝京平成 2024
66	間 島 加 帆	医療法人徳洲会羽生総合病院	城西大 2024
67	高 岩 弘 稔	上尾中央総合病院	明薬大 2024
68	野 口 奈 桜	圏央所沢病院	明薬大 2024
69	一 宮 香 月	丸山記念総合病院	帝京大 2024
70	諏 訪 恭 子	北野病院	共薬大 1990
71	佐々木 順 哉	白岡中央総合病院	昭薬大 2006
72	堀 江 朱 里	埼玉セントラル病院	北科大 2022
73	田 端 萌 加	行田総合病院	明薬大 2018
74	原 有 彩	春日部中央総合病院	帝京平成 2023
75	野 村 日向子	上尾中央総合病院	明薬大 2024
76	渡 邊 倫 朗	北里大学メディカルセンター	北里大 2024
77	西 村 華	上尾中央総合病院	城西大 2024
78	佐 藤 日南子	上尾中央総合病院	国際医福 2024
79	新 名 未 愛	埼玉石心会病院	明薬大 2024
80	近 藤 葉 子	国立病院機構埼玉病院	明薬大 1998

81	櫻井 ひな	埼玉心会病院	明薬大 2024
82	大谷 素乃子	羽生総合病院	広島国際 2017
83	米光 麻利恵	獨協医科大学埼玉医療センター	明薬大 2013
84	梅原 光旦	TMG 朝霞医療センター	帝京大 2021

令和6年度 第4回理事会承認

A 会員

1	飯島 千絵	ジャパンメディカルアライアンス東埼玉総合病院	金沢大 2006
2	駒林 幸太郎	埼玉メディカルセンター	東北医薬大 2017
3	尾関 彩衣	TMG あさか医療センター	東邦大 2023
4	二階堂 遥香	イムス富士見総合病院	日本薬科 2024
5	佐々木 風沙	イムス富士見総合病院	横浜薬科 2024
6	浅賀 悠菜	イムス富士見総合病院	東邦大 2024
7	松村 貴子	中田病院	昭薬大 1992
8	岡安 彩佳	新座志木中央総合病院	日本薬科 2023
9	花田 志帆	伊奈病院	東北医薬大 2024
10	町田 麻利子	クリニカル病院	第一薬大 1997
11	辻 康仁	埼玉メディカルセンター	東薬大 2024
12	春田 莉奈	埼玉メディカルセンター	高崎健康 2024
13	浅野 里緒	巨樹の会新久喜総合病院	高崎健康 2023
14	田中 優衣	越谷誠和病院	高崎健康 2022
15	吉田 優菜	巨樹の会新久喜総合病院	日本薬科 2024
16	井上 紗菜	彩の国東大宮メディカルセンター	日本薬科 2024
17	猿田 楓生	上尾中央総合病院	国際医福 2024
18	富田 結惟	巨樹の会新久喜総合病院	明薬大 2024
19	太田 麻理奈	行田総合病院	横浜薬科 2022
20	友近 七海	彩の国東大宮メディカルセンター	徳島大 2024
21	寺田 裕太郎	巨樹の会新久喜総合病院	城西大 2024
22	腰塚 拓	巨樹の会新久喜総合病院	日本薬科 2023
23	杉田 望実	三愛会総合病院	帝京平成 2024
24	恋塚 駿	戸田中央総合病院	帝京平成 2024
25	角田 純希	戸田中央総合病院	神戸薬大 2024
26	木山 弘毅	三井病院	城西大 2009
27	高橋 理子	さいたま北部医療センター	東邦大 1994
28	石塚 佳奈恵	TMG あさか医療センター	昭和大 2021
29	長谷川 美緒	三愛会総合病院	明薬大 2023
30	高梨 麻美	特別会員	東理大 2004
31	石坂 優希	三愛会総合病院	東理大 2023
32	阪口 愛巴	新久喜総合病院	国際医福 2024
33	河守 理沙	彩の国東大宮メディカルセンター	東薬大 2024
34	野口 恵子	騎西病院	共薬大 1988

賛助会員（団体）

あゆみ製薬（株）	東京都中央区銀座4丁目12番15号歌舞伎座タワー19階
----------	-----------------------------

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
理事会開催報告
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

令和6年度 第3回 理事会議事録

開催日時：2024年6月18日（火）17：30～18：40

開催場所：オンライン会議（Teams）

キーポイント 小峰ビル 4階 事務局（さいたま市浦和区高砂 3-12-24）

理事定数：15 名以上 20 名以内（理事現在数 20 名）

出席者：理事 町田充、近藤正巳、多田幸子、濱浦睦雄、新井成俊、新井真澄、新井亘、池上幸子、伊藤典子、井上雅美、金子智一、須田修輔、田村賢士、中田和宏、日比徹、星野真之、真壁秀樹、牧野好倫、矢吹直寛（以上19名）

監 事 岸野亨、齋藤恭子

事務局 中村房子、金子久代

議事の経過の要領及びその結果

I 議長選出 町田充会長を全員一致で選出した。

II 報告事項

1. 2024 年度通常総会議事録 (5/14)
池上幸子総務委員長より報告があった。
2. 2024 年度第 1 ～ 2 回埼病薬理事会議事録 (4/25、5/14)
池上幸子総務委員長より報告があった。
3. 会務報告 (4/26 ～ 6/18)
池上幸子総務委員長より報告があった。
4. 広報委員会より公式ラインアカウントについて
多田幸子広報委員会担当幹事より報告があった。
中田和宏広報委員長より 9 月号のメ切 (7/31) について説明があった。
5. 第 1 回総務委員会議事録 (5/14)
池上幸子総務委員長より報告があった。
6. 第 1 回薬事運営委員会・実務実習教育委員会合同議事録 (5/10)
矢吹直寛薬事運営委員会委員長、真壁秀樹実習教育委員会委員長より報告があった。
7. 第 15 ～ 16 回関ブロ準備実行委員会議事録 (5/28、6/10)
近藤正巳関ブロ実行委員長より報告があった。
8. 第 78 回評価委員会議事録 (5/8)
濱浦睦雄評価委員会委員長より報告があった。
9. その他
 - ・ 埼玉県薬務課との会議について (4/24、6/30)
町田充会長より薬剤師確保計画に関するアンケート作成について薬務課との打ち合わせを行った旨の説明があった。8 月以降に配布予定あり、協力要請があった。

- ・埼玉県地方薬事審議会委員について

町田充会長より多田幸子副会長が継続するとの説明があった。行政からの依頼の際には更新が依頼された。

- ・埼玉県薬剤師会委員会委員について

町田充会長より地域医療推進委員会の鈴木栄先生から多田副会長に変更したことについて説明があった。今後、県薬とのパイプ役となる旨の説明があった。

- ・第 49 回日本骨髄種学術集会での会長特別賞を多田幸子副会長が受賞したことについて
町田充会長より報告があった。

Ⅲ 審議事項

1. 入会希望者の承認

池上幸子総務委員会委員長より、A 会員 84 名の入会を議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

2. 役員担当及び委員会委員について

町田充会長より別表の通り役員の各委員会担当、及び各委員会委員の確認が行われた。地域研修部会は今後特別対策研修部会と地域連携委員会に分かれる方針であり、時期をみて町田充会長より地域研修部会委員に説明するとのことであった。

以上について議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

3. その他

- ・理事の名刺作成について

町田充会長より埼玉県病院薬剤師会の名刺が必要な理事は、事務局から送付される名刺のサンプルに必要事項を記載して事務局に依頼するように説明があった。

- ・新規事務員について

町田充会長より 7/1 より曾我部直美事務員、石野浩子事務員が入職する報告があった。

- ・町田充会長より日本病院薬剤師会 武田泰生会長が埼玉県病院薬剤師会特別会員になったとの報告があった。

- ・次回第 4 回理事会開催予定 2024 年 8 月 27 日（火）17：30 ～（三役会 16：30 ～）

以上をもって議事を終了したので、議長は 18 時 40 分閉会を宣した。

令和6年度 第4回 理事会議事録

開催日時：2024年8月27日（火）17：30～18：40

開催場所：オンライン会議（Teams）

キーポイント 小峰ビル 4階 事務局（さいたま市浦和区高砂3-12-24）

理事定数：15名以上20名以内（理事現在数20名）

出席者：理事 町田充、近藤正巳、多田幸子、濱浦睦雄、新井成俊、新井真澄、新井亘、
池上幸子、伊藤典子、井上雅美、奥富秀典、金子智一、須田修輔、田村賢士、
中田和宏、日比徹、星野真之、真壁秀樹、矢吹直寛（以上19名）

監事 岸野亨、齋藤恭子

事務局 中村房子、金子久代、曾我部直美、石野浩子

議事の経過の要領及びその結果

I 議長選出 町田充会長を全員一致で選出した。

II 報告事項

1. 2024年度第3回埼病薬理事会議事録（6/18）

田村賢士総務委員長より報告があった。

2. 会務報告（6/19～8/27）

田村賢士総務委員長より報告があった。

3. 第2回総務委員会議事録（7/26）

田村賢士総務委員長より報告があった。

4. 第1回広報委員会議事録（4/30）

中田和宏広報委員長より報告があった。

5. 県薬との地域連携について

多田幸子副会長より報告があった。

6. 第17回関東ブロック学術大会準備実行委員会議事録（7/1）

近藤正巳関東ブロック学術大会実行委員長より報告があった。

7. 第5回関東ブロック学術大会実行委員会議事録（7/23）

近藤正巳関東ブロック学術大会実行委員長より報告があった。

8. 関東ブロック学術大会スタッフ全体会（8/5）

近藤正巳関東ブロック学術大会実行委員長より報告があった。

9. 第79回評価委員会議事録（7/17）

日比徹評価委員会委員長より報告があった。

10. その他

・ジェネリック医薬品研修会（8/21）

埼玉県薬務課よりジェネリック医薬品研修会への参加呼びかけがあり、本会より田村賢士理事（川口市立医療センター）、曾我部直美事務局員が参加した旨、田村理事より報告があった。

記：2024年8月21日（水曜日） 高田製薬㈱幸手工場

・関東3薬科大学合同業界研究セミナーについて（11/8－10）

新井真澄理事・伊藤典子理事より説明があった。

- ・第32回 認定薬剤師認証研修機関協議会（CAPEP）（6/17）

濱浦陸雄副会長より報告があった。

- ・埼玉県インフルエンザワクチン安定供給対策会議（8/29）

町田充会長が出席予定とのことであった。

III 審議事項

1. 入会希望者の承認（資料1）

田村賢士総務委員会委員長より、A会員33名、C会員1名、賛助会員1社の入会を議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

2. 委員の追加など

各担当委員会委員長より委員の追加の提案があり町田充会長が議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

- ・薬事運営委員会（矢吹直寛委員長）鈴木達宙（さいたま北部医療センター）

- ・地域研修部会（新井成俊委員長）林仁美→渡邊利紗（獨協医科大学埼玉医療センター）

- ・インシデント・アクシデント委員会 / 医療の質・安全対策専門研修部会（新井亘委員長）

矢島功（防衛医科大学校病院）

- ・感染対策委員会／感染制御専門研修部会（近藤正巳担当幹事）

村田諭（埼玉石心会病院）

3. 後援など（資料2）

以下について町田充会長が議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

- ・第5回日本服薬支援研究会 第17回簡易懸濁研究会（9/28～29）

4. 薬剤師確保のための実態調査のこと（資料3）

町田充会長が埼玉県薬務課より依頼の本件調査に関し8月12日締め切りにて回収率は58.1%であった旨、また詳細報告は後日との報告があった。

5. 感染対策委員会よりアンケート実施の提案（資料4）

近藤正巳感染対策委員会担当幹事より本件についての説明資料及びアンケートが示された。町田充会長よりアンケート実施も含め議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

実施期間 2024年9月3日～10月31日

方 法 各施設への郵送

回 答 QRコード読み込みにて

6. 日病薬第57回関東ブロック学術大会のこと（資料5）

まず近藤正巳大会実行委員長、田村賢士総務委員長より以下の報告があった。町田充会長より以下のことを考慮し成果報告書が正しく提出されている方のみ、希望の受講証明書、研修受講シールを付与するとの提案がなされ議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

○参加申し込みなど

事前参加申し込み 2529名、二次直前参加申し込み 414名、三次参加申し込み 141名、

オンデマンドのみ参加申し込み含め合計 3084 名

○研修単位について

埼玉県薬剤師生涯研修センター（G15）322 件、
日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師制度（P04）3697 件、うちがん薬物療法専門薬
事氏・認定薬剤師 80 件、感染制御専門薬剤師・認定薬剤師 122 件、妊婦授乳婦専門薬
剤師・認定薬剤師 30 件 その他専門学会等では、日本褥瘡学会 褥瘡・創傷専門薬剤
師 105 件、日本医療情報学会医療情報技師 15 件、日本精神薬学会認定薬剤師 47 件、
日本緩和医療薬学会 134 件

○成果報告書について

- ・データ入力誤り（免許番号、名前シール区分）が見られた
- ・薬剤師名簿番号記入漏れ、誤記があった
- ・参加申し込みがない方の成果報告書があった
- ・同じセッションへの報告書提出が複数見られた
- ・参加未登録、成果報告書、免許番号、研修単位付与
- ・同じセッションで P04 と G15 の希望があった
- ・口頭発表の前半・後半での単位のことが理解できていない方があった
- ・成果報告書の提出に基づいて単位の発行をする。

○ビーコンについて

- ・会場によりログデータが取れない場所があった
- ・Dr JOY の社員の対応が不適切なケースが見受けられた
- ・未返却ビーコンは 3 個であった。

○その他

- ・不正な申請をした会員は単位を与えないこととする。
- ・セッションにより担当者が開始前に不在のところがあった。
- ・演者控室、講師対応が不十分なセッションがあった。

7. 令和 8 年度診療報酬要望項目について（資料 6）

会員から寄せられた意見は 6 項目あった。町田会長より各説明があり議場に意見を求め、
全理事で審議した結果、1 項目のみ見送りとした。5 項目について埼玉県病院薬剤師会と
して日病薬代議員会に提出することを議場に承認を求めたところ、全員異議なく本件は
承認された。

8. 薬系大学でのご講演

町田充会長より埼玉県内 2 大学への講演について以下のことが提案され議場に承認を求
めたところ、全員異議なく本件は承認された。

城西大学 2 月頃 濱浦睦雄副会長

日本薬科大学 9/27 多田幸子副会長

9. 令和 6 年度病院薬剤部門の現状調査への協力（締切 8/31）（資料 7）

町田充会長より協力依頼があり各理事へ呼びかけ協力を促すこととなり、議場に承認を
求めたところ、全員異議なく本件は承認された。

10. 広報委員会より公式ラインについて（資料 8）

多田幸子担当幹事より導入の提案説明がありディスカッション後、議場に承認を求めた

ところ、関東ブロック学術大会の収支結果等も踏まえ、今後、時期をみることとなった。

11. その他

- ・令和7年新年会について

開催予定とする。仮予約日令和7年1月8日（水）

- ・次回第5回理事会開催予定 2024年10月22日（火）17：30～（三役会16：30～）

以上をもって議事を終了したので議長は18時40分閉会を宣した。

委員会開催報告

2024 年度 第 1 回総務委員会議事録

開催日時	2024 年 5 月 14 日（火） 17：30 ～ 18：30
開催場所	ソニックシティビル 6 階 603 号室
出席者	近藤正巳、池上幸子、猪股ふみ子、大木崇弘、坂上洋子、佐々木茂樹、永野浩之、松沼篤、井上智陽、田村賢士、須賀宏之、金子久代、中村房子
配布資料 協議事項	・一般社団法人埼玉県病院薬剤師会 2024 年度通常総会資料 ・一般社団法人埼玉県病院薬剤師会 2024 年度通常総会役割分担表 （１）一般社団法人埼玉県病院薬剤師会 2024 年度通常総会について ・役割分担の確認をする。 司会 池上幸子（済生会川口総合病院） 議長 松沼 篤（さいたま赤十字病院） 発声 永野浩之（埼玉医科大学病院） 受付 猪股ふみ子（自治医科大学さいたま医療センター）、 坂上洋子（獨協医科大学埼玉医療センター） 金子久代（事務局）、中村房子（事務局） 会場係 池上幸子（済生会川口総合病院） 井上智陽（埼玉メディカル病院） 永野浩之（埼玉医科大学病院） 須賀宏之（深谷赤十字病院） 佐々木茂樹（熊谷総合病院） 大木崇弘（さいたま市民医療センター） 連絡係 田村賢士（川口市立医療センター） 総合進行 近藤正巳（埼玉医科大学総合医療センター） 池上幸子（済生会川口総合病院） ・会の名称等、張り紙表示を滞りなく行う。 ・定刻 18 時 30 分開始とする。 ・正会員数 2007 名のため過半数は 1004 名である。 出席予定者 44 名、委任状 1400 名であり、総会は成立される。 ・町田充会長の出席のもと、議案は予定通りで進行する。 ・第 4 号議案で役員選任を行う。 （２）その他 特になし
次回開催予定	未定
文責者	近藤正巳

2024 年度 第 2 回総務委員会議事録

開催日時	2024 年 7 月 26 日（金）17：30 ～ 18：30
開催場所	小峰ビル 1 階 会議室
出席者	近藤正巳、田村賢士、池上幸子、猪股ふみ子、井上智陽、坂上洋子、 須賀宏之、金子久代、中村房子、曾我部直美、石野浩子 欠席：大木崇弘、佐々木茂樹、永野浩之、松沼篤
協議事項	（１）今年度の行事予定について ・夏期懇話会については、関東ブロック学術大会があるので中止とする。 ・新年会（来年 1 月）は例年通り開催する。 （２）薬事衛生大会について（10/28） ・参考資料をもとにリストアップした。年齢確認の上、今後理事会で承認をいただき正式に推薦する。 知事表彰 多田幸子（獨協医科大学埼玉医療センター） 中山季昭（埼玉県立がんセンター） 会長功労章 興野克典（さいたま赤十字病院） 池上幸子（済生会川口総合病院） 猪股ふみ子（自治医科大学附属さいたま医療センター） 会長善行賞 香田博（草加市立病院） 小川桂（上尾中央総合病院） 泉香里（至聖病院） 矢島美友紀（埼玉医科大学総合医療センター） （３）会員証の発行について ・名簿確認は行わない。 ・名簿点検作業は 8 月末に事務局で行い、会員証を発送する。 （４）その他 ・7 月から曾我部直美事務局員、石野浩子事務局員の 2 名が事務局員として総務委員会の委員に就任した。 ・関東ブロック学術大会における総務委員会の担当セッションおよび開・閉会式、懇親会について、役割分担や業務内容を確認した。
次回開催予定	未定
文責者	田村賢士

2024 年度 第 1 回広報委員会議事録

開催日時	2024 年 4 月 30 日（火） 18：30 ～ 19：30
開催場所	ZOOM 会議
出席者	多田幸子、渋谷清、中田和宏、香田博、小村理香、岡田美紗紀
添付資料	・ 前回議事録（第 8 回広報委員会） ・ LINE の運用案・利用イメージ ・ マニュアル 研修会情報配信のテンプレ ・ Line プラン ・ [ポスター] LINE アカウントの PR
報告事項	（1）次期広報委員長について（渋谷委員長） ・ 渋谷委員長の定年退職に伴い下記の手順で次期広報委員会委員長の着任が予定されている説明があった。 ・ 越谷市立病院 中田和宏先生を次期広報委員会委員長の候補者としている。 ・ 中田先生が 5 月 14 日（火）通常総会の理事選挙で理事に着任する予定 ・ 同日、第一回理事会が行われ、広報委員長に着任予定。 （2）LINE 運用案について（添付資料参照） ・ 岡田委員より、添付資料に基づいて説明があった。 ・ 今後、広報委員会委員は、広報メールアドレスを共有することになった。
審議事項	（1）広報誌への LINE 登録に関する記事の掲載について（添付資料参照） ・ 4 月の理事会でも承認されていることから、広報誌に LINE 登録に関する記事を掲載することになった。 尚、この LINE 登録については、広報委員会委員の施設で積極的に進めていく。 （2）関東ブロック学術大会関係の記事について ・ 下記の内容を掲載することになった。 ○冊子の最初にポスターを掲載 ○HP に掲載されている内容を掲載する。 大会長挨拶、大会概要、演題登録、参加登録、会場への交通案内 ○埼玉県薬剤師会主催学術大会のポスターを掲載する。 この掲載については、事前に多田理事から町田会長に確認を取る。 （3）関東ブロックの紹介動画の作成について ・ 2024 年 7 月上旬を目標に、下記の動画を埼玉県病院薬剤師会 HP にアップしていく。尚、LINE から動画閲覧サイトにも遷移できるようにする。 ・ 会長挨拶の動画については、事前に多田担当理事から町田会長に打診する。動画撮影は、小村委員（さいたま赤十字病院）が担当することになった。その他の動画については、多田担当理事、渋谷委員長、中田副委員長で具体案を検討することとする。 ・ 撮影動画案 ○会長挨拶（動画） ○シンポジウムの紹介（動画）

	○ランチョンセミナー等の紹介（動画） ○懇親会の案内（動画） ○その他 （４）今後の広報委員会役割分担について ・多田担当理事、渋谷委員長、中田副委員長で具体案を検討することとする。 ・広報誌の広告募集は香田委員に依頼してきたが、多田担当理事をはじめ広報委員会委員全員で行っていくことになった。尚、取りまとめは、従来通り香田委員に依頼することになった。
次回開催予定	未定
文責者	渋谷清

2024 年度 第 1 回薬事運営・実習教育委員会合同会議議事録

開催日時	2024 年 5 月 10 日 16：30 ～ 17：30
開催場所	オンライン開催
出席者	担当幹事 濱浦睦雄 副会長 実習教育委員長 真壁秀樹 薬事運営委員長 矢吹直寛 薬事運営委員会 副委員長 野村淳 井上雅美、横田敬之、野本祐介、斉藤健一、竹内絵美、清水敦子、逸見和範、 中川朗宏、中村綾乃、問註所英明 欠席者：岡田直子、澤田唯美、林良行、日比徹（敬称略・順不同）
協議及び 報告事項	報告事項 ☆薬事運営委員会より以下の報告があった。 ①前年度の県民のためのくすり講座の振り返り 一般社団法人 埼玉県病院薬剤師会 主催 第26回 県民のためのくすり講座 テーマ：糖尿病スティグマをなくそう 「糖尿病」というだけで、就職や就学に影響がでたり、社会的な不利益や誤解が生じている場合があります。そのようなスティグマ（偏見）をなくすため、糖尿病スティグマについて学びませんか。 開催日時 2024年3月3日（日）14:00～15:10 開催形式 オンライン配信のみ 定員 450名（先着順） 講演1 14:05～14:15 「糖尿病には、私たちの正しい理解が必要です」 埼玉県医科大学総合医療センター 薬剤部 次長 埼玉県糖尿病協会 常任理事 齋藤 健一 先生 講演2 14:15～15:00 「糖尿病はぜいたく病？糖尿病とスティグマを考える」 埼玉県医科大学総合医療センター門分診療科 助教授 埼玉県立大学ヘルスケアサイエンス 研究員 大村 卓士 先生 ＝参加方法・申し込み方法＝ ご参加には画速インターネットが利用できるパソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれかと、メールアドレスが必要です。 本講習会の参加費は無料ですが、通信費などは参加者のご負担となります。 参加申し込みは下記いずれかの方法でインターネットからお申し込みします。 ＜スマートフォン・カメラ付きタブレット端末をお持ちの方＞ ⇒右のQRコードを撮影して、申し込みサイトへお進みください。 ＜パソコンからお申し込みされる方＞ ⇒インターネットで「埼玉県病院薬剤師会」と検索し、埼玉県病院薬剤師会ホームページ(http://www.saihyoyaku.or.jp)からお申し込みください。 ●問い合わせ先：埼玉県病院薬剤師会 事務局 TEL 048-829-7088（平日10～18時） 埼玉県薬剤師会（10社） 埼玉県糖尿病協会 埼玉県薬剤師会連合会（一社）さいたま市薬剤師会 埼玉県医科大学 日本薬科大学 埼玉大学 埼玉大学 埼玉大学 埼玉県立大学 伊勢市 川口市 川口市 川口市 川口市 埼玉県立大学 埼玉県立大学 埼玉県立大学 埼玉県立大学 埼玉県立大学 埼玉県立大学 埼玉県立大学 埼玉県立大学 参加人数：49 名 アンケート回収 34 名（回収率 69 %） 参加者の住居：さいたま市、戸田市、伊奈町、川越市、宮代町、川越市、本庄市、滑川町、春日部市、坂戸市、久喜市、北本市、東京都文京区、茨城県、上尾市、越谷市、千葉県柏市、春日部市、松伏町、日高市 本研修会を知ったきっかけ：知人の紹介、市町村の広報、ポスター、その他 参加者の職業：薬剤師、学生、会社員、教員医療関係者 ②診療報酬研修会 2024 年度 病院薬剤師対象診療報酬改定勉強会 ～始まった、新診療報酬に対して、疑問をぶつけてみよう！～ 【開催日時】2024 年 6 月 19 日（水）18:30 ～ 20:15 【配信 URL】 https://us06web.zoom.us/j/84330454790?pwd=QGwhRDHI6wcTi0WWILVzfaUfPdQCMD.1 司会 埼玉県病院薬剤師会 理事 矢吹 直寛 【開会の挨拶】18：30 ～ 18：35 埼玉県病院薬剤師会 会長 町田 充 先生 【講演 I】18：35 ～ 18：55 『中小病院における令和 6 年度診療報酬改定のポイント～地域での役割を踏まえて～』 埼玉県病院薬剤師会 副会長 濱浦 睦雄 先生

【講演Ⅱ】18：55～19：55

『診療報酬改定から見る病院薬剤師評価の方向性 ～今後の傾向と対策～』

(一社) 日本血液製剤機構 事業本部 事業戦略部 主席 谷澤 正明 先生

【総合討論・質疑応答】19：55～20：10

埼玉県病院薬剤師会 会長 町田 充 先生

埼玉県病院薬剤師会 副会長 濱浦 睦雄 先生

埼玉県病院薬剤師会薬事運営委員会 副委員長 野村 淳 先生

日本血液製剤機構事業本部 事業戦略部 主席 谷澤 正明 先生

【閉会の挨拶】20：10～20：15 埼玉県病院薬剤師会 副会長 濱浦 睦雄 先生

③来年の県民のためのくすり講座について

10月の開催は中止（関東ブロック学術大会のため）

次回：第27回 県民のためのくすり講座

県民のためのくすり相談：集合・オンライン配信

<候補日>

3月16日（日）14：00－16：45（相談含む）

3月20日（祝木）14：00－16：45（相談含む）

3月23日（日）14：00－16：45（相談含む）

3月開催のスケジュールで逆算すると・・・

12月末までに後援をすべて獲得したポスターを完成させ、ポスターを郵送

10月中旬より、後援獲得のための手続きを開始する。（約1か月かかる）

9月末までに（仮）ポスターの作成終了

9月上旬には、演者などを決定する。

テーマ候補

- 薬の正しい使い方と副作用の予防：一般の人々が日常生活で処方される一般的な薬や市販薬について、正しい使い方や副作用の予防方法について解説します。
- 健康管理と予防医学：日常生活での健康管理や予防医学の重要性について説明し、適切な栄養、運動、ストレス管理などの方法を紹介します。
- 薬と生活習慣病の関係：生活習慣病（高血圧、糖尿病、高コレステロールなど）と薬の関係について理解を深め、薬物治療だけでなく生活習慣の改善の重要性を認識させます。
- サプリメントや健康食品の選び方：サプリメントや健康食品の選び方や使用方法について、市民が健康的な選択をするためのアドバイスを提供します。
- 薬の効果と注意点：一般的な病気や症状に対する薬の効果や使用上の注意点、自己判断や長期間の使用によるリスクなどについて説明します。
- 医療情報の信頼性と健康情報の取捨選択：インターネットやメディアで提供される医療情報の信頼性について議論し、正しい情報を選択する方法について指南します。

後援に関しては町田会長に相談する。製薬メーカーも含む

⑤関東ブロック関連

【シンポジウム S（診療報酬）】 ※予算 準備委員会に諮る

8月10日（土）14時45分～16時45分（120分） 第7会場（250席）（予定）

シンポジスト①（全般）

浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部 部長 川上 純一 先生 ⇒ 依頼予定

シンポジスト②（ 向上加算 ）

金沢大学附属病院 薬剤部 部長 崔 吉道 先生 ⇒ 依頼予定

シンポジスト③（薬剤総合調整加算）

蕨市立病院 薬剤科 科長 濱浦 睦雄 先生 ⇒ 承諾

シンポジスト④（がん・薬剤師外来）

上尾中央医科グループ協議会 増田 裕一 先生 ⇒ 承諾

シンポジスト⑤（処遇改善）

東北大学病院 薬剤部 部長 眞野 成康 先生 ⇒ 依頼予定

座長① 埼玉県病院薬剤師会 副会長 多田 幸子 先生 ⇒ 承諾

（獨協医科大学埼玉医療センター）

座長② 埼玉県病院薬剤師会 理事 牧野 好倫 先生 ⇒ 承諾

（埼玉医科大学国際医療センター）

- ・ 抄録査読スタッフの公募がかかったときはご協力宜しく願います。
約 400 演題程度の予定
- ・ 当日の会場運営
シンポジウムの会場担当、懇親会（鉄道博物館）の担当、その他受付等

<確認事項>

関東ブロック学術大会にて、

- ・ お手伝いスタッフの大枠（人数、束縛時間等）
- ・ 事前参加登録の有無

また、当日運営のスタッフネットワーク（連絡ツール）の構築お願いしたい。

7月12日（金）16：30－ おそらく、オンライン開催

<内容>

第31回 薬事研修会 の演者等の決定

3月の県民のためのくすり講座のテーマ・演者等の検討

診療報酬研修会の最終確認

関東ブロック関連

☆実習教育委員会より以下の報告があった。

1, 次年度ワークショップ（開催日確定）

日付 2024 年 11 月 23 日（土・祝）-24 日（日）

場所 日本薬科大学

規模 3P9S（81 名受講）

主催 薬学教育協議会・埼玉県薬剤師会
埼玉県病院薬剤師会

チーフ 未定

次年度は病薬、県薬共に学術大会があるため 1 回での開催

ただし、埼玉県単独ではなく他県からの参加者も入る。また、埼玉県からも他県開催に割り振られる（参加枠は未定）

3P6S にてタスクフォースが多数必要となるため予定を空けといて頂けると助かります。必要人数が決まり次第ご連絡致しますのでご協力宜しくお願い致します。

2, 今年度認定実務実習指導薬剤師養成講習会・更新講習会

年 2 回 開催決定

養成講習会・更新講習会

2024 年 10 月 6 日（日） 場所：日本薬科大学

主催：埼玉県薬剤師会

更新講習会

2025 年 2 月 11 日（火・祝） 場所：日本薬科大学

主催：埼玉県病院薬剤師会

今年度は 1 回 2 月 11 日埼玉県病院薬剤師会が主催となり開催する。

数名ご協力をお願いします。

3, 関東ブロック学術大会 教育講演 3 確定

8 月 10 日（土） 12 時 20 分～14 時 10 分（90 分） 第 7 会場（250 席）

「もしもあなたが臨床研究を学べば

病院薬剤師業務はもっとときめく」（仮）

講師 昭和薬科大学 理事長 渡部 一宏 先生

座長 帝京大学医学部附属病院 薬剤部 部長 安野 伸浩 先生

4, 関東ブロック学術大会 教育講演 5 確定

8 月 11 日（日） 14 時 15 分～15 時 15 分（60 分） 第 7 会場（250 席）

「薬学教育モデル・コア・カリキュラム

ー令和 4 年度改訂版ー」（仮）

講師 帝京大学 薬学部 名誉教授 小佐野 博史 先生

座長 埼玉医科大学病院 薬剤部 部長 眞壁 秀樹

	5, 関東ブロック学術大会 シンポジウム E 確定 8月11日(日) 9時～11時(120分) 第5会場(210席) シンポジスト①(薬剤師確保) マイナビ 西田 健悟 様 シンポジスト②(人材育成・キャリア) 上尾中央総合病院 薬剤部 部長 新井 亘 先生 シンポジスト③(卒後教育) イムス三芳総合病院 薬剤部 部長 大木 稔也 先生 シンポジスト④(実習・就職) 総合相模更生病院 薬剤部 部長 稲葉 健二郎 先生 座長① 埼玉医科大学病院 薬剤部 部長 眞壁 秀樹 座長② 彩の国東大宮メディカルセンター 薬剤部 部長 矢吹 直寛 関東ブロックに関して要員等々は後日決まります。 ご協力をお願いします。
次回開催予定日 場 所	7月12日(金) 16:30 - (予定) オンラインもしくは集合
文 責 者	矢吹直寛

第 54 回関東ブロック学術大会（2024/8/10・11）
スタッフ全体会 議事録

開催日時	2024 年 8 月 5 日（月）18：00～20：00
開催場所	オンライン
出席者	事務局：近藤正巳、新井成俊、田村賢士、中村房子、金子久代、 曾我部直美、石野浩子 オンライン参加：スタッフ 141 名 メディセオ：石谷嘉浩
配布物	司会：新井成俊副実行委員長 ・スタッフマニュアル ・タイムスケジュール ・人員配置 ・会場配置図 ・座長アナウンス原稿
はじめに	町田充会長挨拶 近藤正巳実行委員長挨拶 ・現在の所、現地参加 2600 名、オンデマンド参加 330 名、全参加者約 3000 名の見込み ・7/30 に HP に単位付与一覧をアップした ・プログラム集、参加証など参加者に届いている ・1 セッション原則 2 時間 ・口頭発表は前半 4 演台、後半 4 演台で 1 単位
協議事項	1. 研修単位について ほぼ全セッションに G15 付与 P04 の申請は受理された 専門学会も承認有 2. タイムスケジュールについて 開会式 10：00～10：30 ビーコン配布 12：00～12：20 みこみ スタッフは 8/10 9：00 楽屋入り口から入り 集合 8/11 は 8：00 集合 4 階 閉会式は 16：30～17：00 7/9 以後の申込者は総合受付で参加証などをもらう 口頭発表は 4 題で 1 枠とし 2 枠で G15 は 1 単位とする 3. 楽屋配置について 配置図の通り

	4. ビーコンについて 単位必要の方のみ使用 ビーコン朝イチのセッション、その他総合受付、ソニック 2F などで配布 途中参加者は総合受付で参加証をみせてからもらう 夕方最後のセッション、総合受付で回収 出来れば一日毎の受け渡し 確実に終了時に回収したい 5. スタッフ業務について スタッフマニュアル参照 当日更新したマニュアル配布予定 4 階総合受付・クローク 6. 懇親会について スタッフは弁当を済ませて現地集合、17：30 から入場 開始 18：30 乾杯、中締め 8：10 頃 8：30 すべて退出 7. その他 前日 8/9 は会場下見希望者 OK 各会場セッティング等の為数名が伺う 17：30 頃から 19：10 まで
次回開催予定	なし
文 責 者	近藤正巳

第 54 回関東ブロック学術大会（2024/8/10・11）

第 15 回準備実行委員会 議事録

開催日時	2024 年 5 月 28 日（火）18：00 ～ 20：00
開催場所	小峰ビル 1 階会議室
出席者	事務局：町田充、近藤正巳、多田幸子、濱浦睦雄、新井成俊、金子智一、 田村賢士、矢吹直寛、星野真之、中村房子、金子久代 メディセオ：石谷嘉浩、三草康雄（WEB 参加）
協議事項	1. 演題登録、事前参加登録状況確認 ・演題登録（5 月 22 日締切）は、486 演題（口頭 35、ポスター 451）で終了 ・事前参加登録は、5 月 28 日 13 時時点で 671 名 現地参加＋オンデマンド 622 名 オンデマンドのみ 49 名 懇親会 80 名 ・懇親会の招待者 21 名（現時点） 上記 80 名には含まれていないが、薬剤師以外のためほとんどの方は自身の講演後帰られると思われる 2. 協賛企業に関して ・本日 JMS から正式に申込書受け取ったため（仮）を削除 ・日本化薬の日程は 11 日で決定 ・Dr.joy のランチョンは確認中 ・ランチョン 5 枠、イブニング 5 枠が埋まる可能性が無いため、収支が厳しい状況（現時点で約 377 万円マイナス） 収支の会場備品・付帯費用、事務局費、会議費は第 44 回大会時の金額を仮置きしているため、減額となる可能性あり ・5 月末で共催セミナー募集が締切となるため、今後は広告と寄付に注力して欲しい ・ランチョンの会場変更依頼（会場費はそのまま、お弁当を増やしてもらえるか交渉） JMS（601・602 会議室→国際会議場） 第一三共（905・906 会議室→パレスホテルローズ東） 3. 登壇者の招聘条件、スタッフの学会招待等に関して ・交通費、宿泊手配、大会招待に関して再確認 ・スタッフに関しては、担当業務のみで講演等を聴講しなければ参加登録不要 ・懇親会に関しては、飲食する場合は会費徴収（懇親会参加登録必要） ・登壇者に関しては、登壇セッション以外に参加しない場合は参加登録不要 4. 当日スタッフの依頼に関して ・日薬は 400 名のスタッフを用意しているとのこと ・学生スタッフとして、星薬科大学と日本薬科大学から出してもらえそう

	・企業からのスタッフ募集に関して、1社1日2名まで（金銭および機器操作以外の業務に限る）なら依頼可能 - 過去の労務提供依頼書を確認し、今回も依頼する方向で進めていく
5. 特別講演1に関して	・予定が合わず空いてしまった日薬会長講演箇所に、開会式でご挨拶いただく予定の厚労省医薬局医薬品審査管理課の中井課長へ講演を依頼してみる
6. 開会式に関して	・登壇者は下記を予定 * 武田会長（日本病院薬剤師会）、斉藤会長（埼玉県薬剤師会）、大野氏（埼玉県知事）、中井課長（厚労省医薬局）、関プロ都県各会長
7. 企業展示に関して	・現時点では、直接運営事務局へ申込11社＋薬科機器協会から12社の計23社
8. Dr. JOYに関して	・広島の学会での報告をもらう ・検討いただいているランチョンセミナーに関しての確認
9. 一般演題に関して	・口頭発表は48演題としたい（不足分はポスター→口頭へ変更依頼） - 町田先生の案を基に声かけを行う ・口頭発表は、発表6分、質疑3分とする（入替1分を予定） ・ポスターが何枚掲示可能かレイアウト作成し確認する ・査読に関しては当日配付資料の通り各部会へ依頼する ・3薬剤管理指導は中小診療所＋実習教育で依頼する
10. 認定単位に関して	・5月末までに演題名を収集、6月中に下記すべての単位申請を関係学会等に済ませたい。 - それまでに各セッションに時間・テーマ・講師等など明示されるように願いたい。 ☆ 6月上旬までに済ませたい分 - 日病薬病院薬学認定薬剤師制度 P04 - 埼玉県薬剤師生涯研修認定単位 G15 ☆ 6月下旬までに済ませたい分 - 日病薬専門薬剤師認定単位 （がん領域、感染制御領域、精神科領域、妊婦授乳婦領域、） - 日本薬剤師研修センター認定単位 G01 - 日本糖尿病療養指導士認定のための研修単位第2群 及び - 日本糖尿病療養指導士薬剤師更新単位（第1群）

	日本緩和医療薬学会 日本腫瘍学会 JASPO 日本褥瘡学会 ・ポスター発表と一般演題の口頭発表は認定単位に該当しない。
次回開催予定	6月10日（月）18:00～ オンライン
文責者	

第16回準備実行委員会 議事録

開催日時	2024年6月10日（月）18:00～20:00
開催場所	WEB
出席者	事務局：町田充、近藤正巳、多田幸子、濱浦睦雄、新井成俊、金子智一、田村賢士、矢吹直寛、星野真之、中村房子、金子久代 メディセオ：石谷嘉浩、三草康雄
協議事項	- 一般演題の査読結果に関して - 全487演題中採択469演題（口頭：48演題、ポスター：421演題） 不採択17演題、取り下げ1演題 - 演題番号ならびに各会場、口頭発表セッション振り分け決定 - 不採択通知時に、査読者のコメントを理由として入れる - ポスターB会場レイアウトに関して、動線の確保および混雑回避のため5演題箇所を4演題へ減らす - セッションテーマ、演題名に関して - 川上先生、中川氏のみ演題名未定状況 中川氏は現時点で記載されている演題名で決定 川上先生は早急に確認 - スポンサードシンポジウム1の座長の交代（飯塚先生→舟越先生） - 単位申請に関して - 抄録およびホームページ掲載用の案内文の確認 - ビーコン配付等運用の確認 - 演題名確定後、単位申請作業を開始予定 - P04、G15は大会事務局が申請、その他の専門単位は各部会へ依頼 - 全体スケジュール（日程表）の確認 - 一般演題を含めすべてのセッション名を決定 - 抄録やホームページ掲載用に横型の日程表を作成する - 日程表、取得可能な単位の公表（ホームページへの掲載）し事前参加登録数増へつなげる

	5. その他 ・ 翌日開催予定の Dr.JOY との打ち合わせに関して 会場下見に関して、パレスホテルより 1 時間かかる場合は予約（有料）にてお願いしたいと要望あり。 ・ 会期前日の設営日に調査等が出来ないか Dr.JOY へ確認する ・ 当日の人員配置に関して、認定関係での配置は無くても大丈夫 翌週 18 日までに必要人員数予定を出す
次回開催予定	未定
文責者	近藤正巳

第 17 回準備実行委員会 議事録

開催日時	2024 年 7 月 1 日（月）18：00 ～ 20：00
開催場所	小峰ビル 1 階会議室
出席者	事務局：町田充、多田幸子、濱浦睦雄、新井成俊、金子智一、田村賢士、 矢吹直寛、中村房子、金子久代 メディセオ：石谷嘉浩、三草康雄
協議事項	1. 人員配置に関して ・ 田村先生作成案の確認および決定（各部会からの人数と担当セッションについて） ・ 各講演会場必要人数は 4 ～ 5 名 ・ 企業スタッフへの依頼を行う（以前、趣意書を発送した賛助会員企業およびそれ以外） ・ 懇親会当日受付は無し ・ 「昼食」表記はスタッフ弁当用意 2. ランチョンセミナーに関して ・ 各ランチョンセミナー登録状況確認（7 月 1 日 16 時時点） ランチョン 9（ヴィアトリス）140 名定員満席 ・ 申し込みは事前参加登録（1 次）の期間で終了 各企業には確定した人数を報告し、定員に達していない企業は、当日分の追加について企業判断とする 3. 参加登録、懇親会登録に関して ・ 事前参加登録（1 次）は予定通り 7 月 8 日（月）で終了。翌日より 2 次（現地＋オンデマンドのみ）を開始 ・ 3 次（オンデマンドのみ）の参加登録終了日時は、9 月 30 日 23 時とする ・ 1 次のオンデマンドのみ登録者と 2 次の会場へ来なかった方への参加証・プログラム集発送は 8 月下旬とする（3 次はオンデマンド配信終了後に発送） ・ 各都県病薬会長は懇親会のみ招待（既に申し込み済みの方へは当日返金）

	・懇親会でオプションの「汽笛」（1回5万円）を1回行う予定 ※「汽笛」のタイミング、スクリーン有無および使用の可否、1階での飲食の可否を確認 ・懇親会の挨拶（町田会長）、乾杯（新任関プロブロック長）、中締め（近藤実行委員長） 4. プログラム、抄録集に関して ・抄録集には索引を付ける ・プログラム集にも企業広告掲載 5. 会場下見に関して ・7月12日（金）10:00 から準備実行委員にて行う ・7月23日（火）15:00 ～ 16:00 小ホール、国際会議室、控室などの下見を実行委員（セッション担当部会から最低1名参加）にて行う - その後、17:30 から 906 会議室にてオリエンテーションを行う ・23日に参加できなかった方用に、7月末か8月初にWEBにてオリエンテーションを行う 6. その他 ・Dr.JOY とのパレスホテル下見報告 上下階は問題ないが、隣接会場は電波干渉あり ・救急時の対応の確認 ソニックシティ、パレスホテルともに対応確認しておく 救急時は大会本部へ連絡を入れる（災害担当者1名を常駐させる） ・オンデマンド用のキーワードに関して 埼玉県の市名やさいたま市の区名などから選定予定 ・記念品は最終的に予算に余裕があるかで決める 44回大会時は、オリジナル台紙に既製品クオカードを配付 埼玉らしい物も候補とし、12日の下見時に2階の物産店にて品物を見える ・7月1日15時時点の参加登録状況 全体：1,648名（現地＋オンデマンド：1,462名、オンデマンドのみ：186名、懇親会：145名） ・収支的には、参加登録（1次から3次）3,500名で丁度バランスが取れる厳しい状況
次回開催予定	未定
文責者	近藤正巳

第 54 回関東ブロック学術大会 (2024/8/10・11)

第 5 回実行委員会 議事録

開催日時	2024 年 7 月 23 日 (火) 17:30 ~ 19:30
開催場所	大宮ソニックシティビル 906 会議室
出席者	出席 (集合): 町田充、多田幸子、濱浦睦雄、近藤正巳、新井成俊、池上幸子、田村賢士、松沼篤、中田和宏、矢吹直寛、興野克典、金子智一、新井真澄、鍵山智樹、小俣香菜福田真人、相川晴彦、大澤雄一郎、須賀宏之、日比徹矢島功、星野真之、須田修輔、出川えりか、武田直樹、長谷川まゆみ、奥富秀典、伊藤典子、新井亘、中村房子、金子久代、曾我部直美、石野浩子 欠席: 横田敬之、眞壁秀樹、北畑智英、木村好伸、伊藤剛貴、佐野元彦、茂木孝裕、鈴木清志
資料 協議事項	配布: 各部会・委員会人員リスト タイムスケジュール (控室案込み) 会場レイアウト案 ○町田会長挨拶 (開会時) ○近藤実行委員長 (8/5WEB 説明会のご案内) ○司会: 新井実行委員会副委員長 ○説明: 田村委員、金子委員 ① 研修単位について (金子委員) ・現時点での各単位の申請状況に関して 日本薬剤師研修センター (G01) の小児薬物療法認定薬剤師の単位が発行不認定となった ・現地では、ビーコン使用による入退出管理を行う ・オンデマンド視聴では、視聴ログを基に確認を行う ② タイムスケジュールについて (田村委員) ・タイムスケジュール記載の控室は、今後変更の可能性あり ・控室利用時間は、セッション開始前の時間まで ・セッション間の移動時間が 20 分しかないため、各セッションで延長しないようにお願いしたい ・認定に関しては、生配信のすべてのセッションにて成果報告書の提出が必要、後日オンデマンド配信はキーワードを利用する。 ・ランチョンセミナー直後のセッションにお弁当の用意は無い座長演者への事前のご案内 (郵送予定) にもその旨記載します ・11 日 (日) の朝のセッションは 8:30 から控室利用可能 ③ 当日スタッフの役割について (田村委員) ・8 月 5 日 (月) WEB にてスタッフマニュアルを用いて説明予定 ・スタッフの昼食は、8 階・9 階のスタッフ控室を予定 ・各会場にはディレクターを配置する

	・各セッション担当は1セッション4名位を想定 誘導、照明、タイムキーパー、控室対応など ・一般演題は3名程度想定（照明とタイムキーパー） ・2日目のスタッフは8:00 集合 ・シンポジウムのスタッフの集合時間は各担当部会にて決めていただく 役割も当日までに決めていただければ大丈夫 ④ Dr.JOY について（田村委員） ・一連の流れの説明（配付から回収まで） 各日の最初のセッションでは、セッション開始まで（5～10分遅れでも可にしたい）配付 その後の配付はしない（配付すると最初からその会場にいたことになってしまうため） タイムスケジュール表のオレンジの個所の人が担当となる ・1日目に戻し忘れた参加者は、2日目も同じビーコンを使用でも可 ビーコンと参加者個人の紐付けは各日必要（その日中なら OK） ・回収したビーコンは、同日に再配布禁止（上書きされてしまうため） ・各座長にもビーコンの紐付け、回収に関してのお知らせをしていただく ・1日目のランチョンセミナーに参加しているスタッフで、その後のセッションでビーコン配布する方は、早めに退出して準備いただく ・ビーコンにはストラップが付いているため、基本手渡し予定（紐が絡んでしまう恐れがあるため） ・ビーコン利用のメリットは、参加者の利便性を考慮しての採用 各会場の混雑状況の可視化 QRコード読み取りの場合、出入り口に長蛇の列が出来てしまう ⑤ 会場レイアウトについて（田村委員） ・配布資料にて各会場レイアウト案を紹介 ・討論用に事前にレイアウトされている 各セッションにて変更は可とするが、終了後は最初のレイアウトに戻していただく ・第7～9会場の出入り口は過去混みあってクレームが発生したことがある → 検討する ⑥ 懇親会について（田村委員） ・18:15 開場～18:30 開始～挨拶・乾杯～イベント～中締め～20:30 終了 ・懇親会参加は約200名弱を予定（公表は150名） ・1階は飲食不可 ⑦ その他 ・謝金に関しては、座長は何もしないで結構です 座長演者受付にて対応予定（招聘状にて金額等連絡済み）
次回開催予定	2024年8月5日（月）17:30～
文責者	近藤正巳

埼玉県病院薬剤師会生涯研修センター
第78回評価委員会議事録

開催日時	2024年5月8日（水）18：30～19：30
開催場所	小峰ビル4階 埼玉県病院薬剤師会事務局
出席者	外部委員：野澤玲子 内部委員：日比徹、濱浦睦雄、田村賢士、興野克典、中村房子 事務局：金子久代 欠席：内部委員（日比徹、興野克典、新津京介、佐野邦明） 外部委員（安野伸浩、前田智司、堀野忠夫、真野泰成、大島新司）
配布資料	1. 第77回評価委員会議事録 2. 申請に基づく認定薬剤師適否評価表（2件）
協議事項	濱浦睦雄評価委員会委員長より出席委員の確認があった。 [1] 申請に基づく薬剤師認定について（2件） ・事務局より説明。 認定申請を5月8日までに2名より受け付けたので審議されたい。 ・受付 No648 内海 綾、申請 40.5 単位新規⇒研修手帳その他確認のうえ承認 ・受付 No649 菊池偉孔、申請 40 単位新規⇒研修手帳その他確認のうえ承認 上記2人について委員会として申請に基づく認定薬剤師適否判定表に沿って審議し、2名承認とした。 [2] その他 今2024年4月1日より本センター名称が「埼玉県薬剤師生涯研修センター」に変更された。 [3] 今後の予定 ・6月18日（火）理事会
次回開催予定	2024年7月17日（水）
文責者	大塚潔

第 79 回 評価委員会議事録

開催日時	2024 年 7 月 17 日（水）18：30～20：00
開催場所	小峰ビル 4 階 埼玉県病院薬剤師会事務局
出席者	外部委員：野澤玲子 内部委員：日比徹、濱浦睦雄、田村賢士、興野克典、中村房子 陪席：町田充 事務局：金子久代 欠席：内部委員（大塚潔、新津京介、佐野邦明） 外部委員（安野伸浩、前田智司、堀野忠夫、真野泰成、大島新司）
配布資料	1. 第 78 回評価委員会議事録 2. 申請に基づく認定薬剤師適否評価表（1 件）
協議事項	濱浦睦雄評価委員会委員長より出席委員の確認があった。 [1] 町田充埼玉県病院薬剤師会会長挨拶 埼玉県薬剤師生涯研修センター名称変更について経緯説明があった。 [2] 埼玉県薬剤師生涯研修センターセンター長挨拶 日比徹埼玉県薬剤師生涯研修センターセンター長より新任の挨拶があった。 [3] センターの現状と今後について 中村房子副センター長より説明があった。 [4] 実施要綱について 濱浦睦雄が中心となって実施要綱について文言の修正案などの提案があった。 協議された内容について新しくファイルを作り各委員に今後配信の上点検作業をし、最終的に仕上げ、その後理事会で承認を得る手続きに運ぶこととなった。 [5] 申請に基づく薬剤師認定について（1 件） ・事務局より説明。 認定申請を 7 月 16 日までに 1 名より受け付けたので審議されたい。 ・受付 No650 権丈千恵美、申請 31 単位新規⇒研修手帳その他確認のうえ承認 上記 1 人について委員会として申請に基づく認定薬剤師適否判定表に沿って審議し、1 名承認とした。 [6] その他 次回評価委員会は 9 月 25 日（水）
次回開催予定	2024 年 9 月 25 日（水）
文責者	日比徹

●●●●●●●●●●
事務局だより
●●●●●●●●●●

第 43 回 お世話になりました

皆様、突然ですが、この事務局だよりは今回で終了予定です。

実は事務局では中村がこの 12 月末で、そして金子さんが 3 月で退職となります。

中村は平成 21 年よりこちらの事務局にお世話になり生涯研修センターの立ち上げにかかわり、15 年間お世話になりました。

金子久代さんはそれよりずっと前、会長が井上毅先生に始まり建部守先生、田口重雄先生、片山晃先生、堀口久光先生、北澤貴樹先生、町田充先生と 7 代の会長と共に 36 年間歩まれてきたのです。その間、埼玉県病院薬剤師会は社団法人を経て現在の一般社団法人になっています。ということで事務局の人事が刷新されます。

事務局の新体制は平成 24 より生涯研修センター担当として事務局に勤務されている山崎佐知子さん、済生会加須病院薬剤部参与（旧済生会栗橋病院薬剤科科長）として務められた曾我部直美先生、そしてもう一人は同じ済生会加須病院事務部に勤務されていた石野浩子さんの 3 人体制となります。

さて皆様ご存じの通り、埼病薬では本年関東ブロック第 54 回学術大会を盛会のうちに終了できました。多くの会員の方々のご協力のもと、関ブロでは初めての集合スタイルのほかオンデマンド配信も行いました。少し前のコロナ禍時代を参考に、今の時代に合ったオンデマンド配信はちょっとドキドキしながらでしたがこれも大成功でした。生涯研修センターとして研修受講シール発行も年末になりすべて終了しております。

ということで金子・中村のコンビは本年度で終了し、春からは新体制の事務局がスタートします。皆様、金子・中村への長年のご声援をありがとうございました。そして新年度からの事務局新体制への応援をさらによろしく願いいたします。

（記 中村）

認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ予約登録について

『ワークショップ受講希望の方へのお知らせ』（H 28.4.1 H P 掲載）に基づいて希望者の予約登録を受け付けます。

講習詳細が決定しましたら予約登録している方々に申し込み順で TEL またはメールにてご都合伺いを差し上げます。

申し込み前の確認事項：申し込み時、本会の会員であること。

現在所属施設に認定実務実習指導薬剤師が不在のため、
平成 29 年度からの実務実習が行えないこと。

申し込み時実務経験 5 年以上

申込方法：埼玉病薬ホームページより下記フォーマットをダウンロードして FAX またはメールでお申し込みください。

登録申込先：E-Mail jimukyoku@saibyoyaku.or.jp

（一社）埼玉県病院薬剤師会 事務局 TEL:048-829-7698 FAX:048-829-7952

〒 330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-12-24 小峰ビル 401

（一社）埼玉県病院薬剤師会
実習教育委員会

実務実習指導薬剤師養成講習会予約登録票

申込年月日	令和 年 月 日
参加希望者 （必要事項を記入 または 選択して丸で囲む）	氏名（ふりがな） 性別 生年月日 メールアドレス（PC）（ない場合は住所を記載） 携帯番号 座学聴講状況 受講済 受講未 実務経験年数（本紙提出時） 年 所属施設での職位 部長 主任 係長 その他
所属施設情報	施設名 （病床数 ） 住所 〒 TEL FAX 薬剤部門メールアドレス 薬剤部門長氏名
院内の実務実習指導薬剤師数	名
過去の実習生受け入れ状況	（ ）年（なるべく最新情報で記入のこと） 1 期（ 名）2 期（ 名）3 期（ 名）

ただし、予約可能人数には限りがありますのでご了承ください

会 員 届 出 用 紙

入会異動年月日西暦 年 月 日

一般社団法人埼玉県病院薬剤師会会長殿

下記の通り届出致します。

届出者氏名

届出事項	届出事項 (○で囲んでください)	
	・入会 ・退会 ・変更 ⇒ ・改名 (旧氏名欄に記入のこと) ・住所 ・勤務先 (旧勤務先欄に記入のこと) ・会員区分 (旧区分 A B C D ⇒新区分 A B C D)	
全て記入して下さい	フリガナ	性別
	氏 名	男 女
	生年月日 西暦 年 月 日生	会員区分 (○で囲んでください) A B C D
	自宅住所 〒	
	電話番号	
	薬剤師名簿登録番号 第 号	日病薬会員No
	最終学歴 大学・大学院名 卒業・修了年 (修士 博士) 西暦 年卒	
勤務先 施設名 (床) 住所 〒 電話 FAX		
旧氏名	旧勤務先 施設名	

* 記入上の注意：

- 1) 異動があった場合は、速やかに事務局に FAX、郵送、E-mail 添付で提出して下さい。
- 2) 会員区分 (一般社団法人埼玉県病院薬剤師会定款第 3 章参照)
 - A 正会員で日本病院薬剤師会+埼玉県病院薬剤師会に入会の方
 - B 正会員で埼玉県病院薬剤師会に入会の方
 - C 正会員以外で日本病院薬剤師会+埼玉県病院薬剤師会に入会の方
 - D 正会員以外で埼玉県病院薬剤師会に入会の方

* その他の注意

- 1) 入会は理事会の承認のうえ決定する。
- 2) 届け出内容は会員名簿、会誌に掲載する。
- 3) 会費が期限内に納入されない時、処分対象となる場合がある。
- 4) 一旦納入された会費は返還されない。

* 一般社団法人埼玉県病院薬剤師会 事務局

TEL 048-829-7698 FAX 048-829-7952 E-mail jimukyoku@saibyoyaku.or.jp

原 稿 募 集

時下 会員の皆様においては益々ご健勝にご活躍のこととお慶び申し上げます。常日頃より埼玉県病院薬剤師会の活動にご理解、ご協力いただきまして心より感謝申し上げます。おかげさまで広報誌の「埼玉病薬」は号を重ねるにつれ、会誌の内容が充実してまいりました。会員の皆様には引き続きご協力をいただき、広報誌の内容を一層充実させるため多くのご投稿をお願い致します。

掲載内容について

<会員のひろば>

特にテーマは設けておりません。日常業務での新しい発見や業務上工夫している内容、学会や研修会に参加した感想・報告、そのほか個人の趣味など仕事に関係あるなしに係らず原稿を募集しています。

<学会報告>

学会、後援会で使用したスライド、ポスター、要旨、発表原稿、論文などを募集しています。

<薬局業務紹介>

薬局内の業務で、特に他の施設へ紹介したい自慢できる業務内容や、新しく始めている取組みなどについて原稿を募集しています。薬局全体の紹介ではなく、特定の業務や取組みについて紹介をお願い致します。

それぞれの原稿には写真や図表は自由に入れていただけます。ユニークな原稿の投稿をお待ちしております。

原 稿 規 定

執 筆 者 : 会員の皆様どなたでも

原稿レイアウト : 【原稿用紙】 A4 判、45 字× 40 行
(タイトル含む) を原則とする
【タイトル文字】 12Pt MS ゴシック
【本文】 10. 5Pt MS 明朝
【余白】 上下 20mm 左右 22. 5mm

締 切 日 : ● 2025 年 3 月 31 日
発行予定 : 2025 年 5 月
(Vol.32 No.2 2025)

編集後記

昨年は埼玉県病院薬剤師会として大きなイベントとなった日本病院薬剤師会 関東ブロック第54回学術大会 in Saitama が開催されました。未だに新型コロナウイルス感染症は完全に抑えきれないものの、以前のような制限は無くなり多くの先生方が現地参加をされていました。オンラインでの会議や仕事はすっかり定着をしていますが、現地に行きその場の雰囲気を感じ、そして直接人と会い交流をもつすばらしさを改めて感じる学会でした。埼玉病薬誌でも開催された学会や研修会などのイベントの内容や感想についてお伝えをしていきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

K・N

埼 玉 病 薬

Vol. 32 No. 1 令和7年1月

発行者 一般社団法人 埼玉県病院薬剤師会

会 長 町 田 充

住 所 〒330-0063

さいたま市浦和区高砂 3-12-24

小峰ビル401

TEL 048-829-7698

FAX 048-829-7952

E-Mail jimukyoku@saibyoyaku.or.jp

公式LINE <https://lin.ee/aWnNhhs>

公式X (旧twitter) @saibyoyaku

会員名簿 ユーザー名: saibyo

パスワード: SSHP25

印 刷 株式会社 サンアロー

住 所 〒334-0005 川口市里1191-245

(キリトリ線)

広報委員会

感想・意見・取り上げてほしいテーマ

[illegible]

